

第 4 章 水質汚濁

<生活環境の保全に関する環境基準>

1 河 川

(1) 河川 (湖沼を除く。)

ア

		基 準 値				
種 類	利用目的の適応性	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD)	浮遊物質量 (SS)	溶存酸素量 (DO)	大腸菌群数 MPN/100ml
AA	水道 1 級・自然環境保全及び A 以下の欄に掲げるもの	6.5 以上 8.5 以下	1mg/ℓ以下	25mg/ℓ以下	7.5mg/ℓ以上	50 以下
A	水道 2 級水産 1 級水浴及び B 以下の欄に掲げるもの	6.5 以上 8.5 以下	2mg/ℓ以下	25mg/ℓ以下	7.5mg/ℓ以上	1,000 以下
B	水道 3 級水産 2 級及び C 以下の欄に掲げるもの	6.5 以上 8.5 以下	3mg/ℓ以下	25mg/ℓ以下	5mg/ℓ以上	5,000 以下
C	水産 3 級工業用水 1 級及び D 以下の欄に掲げるもの	6.5 以上 8.5 以下	5mg/ℓ以下	50mg/ℓ以下	5mg/ℓ以上	-
D	工業用水 2 級農業用水及び E の欄に掲げるもの	6.0 以上 8.5 以下	8mg/ℓ以下	100mg/ℓ以下	2mg/ℓ以上	-
E	工業用水 3 級環 境 保 全	6.0 以上 8.5 以下	10mg/ℓ以下	ごみ等の浮遊が認められないこと。	2mg/ℓ以上	-
測定方法		規格 12.1 に定める方法又はガラス電極を用いる水質自動監視測定装置によりこれと同程度の計測結果の得られる方法	規格 21 に定める方法	付表 8 に掲げる方法	規格 32 に定める方法又は隔膜電極を用いる水質自動監視測定装置によりこれと同程度の計測結果の得られる方法	最確数による定量法

備 考

- 基準値は、日間平均値とする (湖沼、海域もこれに準ずる。)
- 農業利用水点については、水素イオン濃度 6.0 以上 7.5 以下、溶存酸素量 5mg/ℓ以上とする (湖沼もこれに準ずる。)
- 水質自動監視測定装置とは、当該項目について自動的に計測することができる装置であって、計測結果を自動的に記録する機能を有するもの又はその機能を有する機器と接続されているものをいう (湖沼、海域もこれに準ずる。)
- 最確数による定量法とは、次のものをいう (湖沼、海域もこれに準ずる。)
試料 10ml、1ml、0.1ml、0.01ml、..... のように連続した 4 段階 (試料量が 0.1ml 以下の場合は 1ml に希釈して用いる。) を 5 本ずつ BGLB 醗酵管に移植し、35～37℃、48±3 時間培養する。ガス発生を認めたものを大腸菌群陽性管とし、各試料量における陽性管数を求め、これから 100ml 中の最確数を最確数表を用いて算出する。この際、試料はその最大量を移植したものの全部か又は大多数が大腸菌群陽性となるように、また最少量を移植したものの全部か又は大多数が大腸菌群陰性となるように適当に希釈して用いる。なお、試料採取後、直ちに試験ができないときは、冷蔵して数時間以内に試験する。

(注) 1 自然環境保全：自然探勝等の環境保全

- 水 道 1 級：ろ過等による簡易な浄水操作を行うもの
2 級：沈殿ろ過等による通常の浄水操作を行うもの
3 級：前処理等を伴う高度の浄水操作を行うもの
- 水 産 1 級：ヤマメ、イワナ等貧腐水性水域の水産生物用並びに水産 2 級及び水産 3 級の水産生物用
2 級：サケ科魚類及びアユ等貧腐水性水域の水産生物用及び水産 3 級の水産生物用
3 級：コイ、フナ等、β - 中腐水性水域の水産生物用
- 工業用水 1 級：沈殿等による通常の浄水操作を行うもの
2 級：薬注等による高度の浄水操作を行うもの
3 級：特殊の浄水操作を行うもの
- 環境保全：国民の日常生活 (沿岸の遊歩道等を含む) において不快感を生じない限度

イ

項目 類型	水生生物の生息状況の適応性	基 準 値
		全 垂 鉛
生 物 A	イワナ、サケマス等比較的低温域を好む水生生物及びこれらの餌生物が生息する水域	0.03mg/ℓ以下
生 物 特 A	生物Aの水域のうち、生物Aの欄に掲げる水生生物の産卵場(繁殖場)又は幼稚仔の生育場として特に保全が必要な水域	0.03mg/ℓ以下
生 物 B	コイ、フナ等比較的高温域を好む水生生物及びこれらの餌生物が生息する水域	0.03mg/ℓ以下
生 物 特 B	生物Bの水域のうち、生物Bの欄に掲げる水生生物の産卵場(繁殖場)又は幼稚仔の生育場として特に保全が必要な水域	0.03mg/ℓ以下
測定方法		規格 53 に定める方法(準備操作は規格 53 に定める方法によるほか、付表 9 に掲げる方法によることができる。また、規格 53 で使用する水については付表 9 の 1(1)による。)
備 考 基準値は、年間平均値とする(湖沼、海域もこれに準ずる。)		

(2) 湖沼(天然湖沼及び貯水量が1,000 万 m^3 以上であり、かつ、水の滞留時間が4 日間以上である人工湖)

(省略)

2 海域

ア

海 域		基 準 値				
種 類	利用目的の適応性	水素イオン 濃度 (pH)	化学的酸素 要求量 (COD)	溶存酸素量 (DO)	大腸菌群数 MPN/100mℓ	n-ヘキサン 抽出物質 質量 (油分等)
A	水産 1 級 水浴 自然環境保全及び B 以下の欄に掲げるもの	7.8 以上 8.3 以下	2mg/ℓ以下	7.5mg/ℓ以上	1,000 以下	検出されないこと。
B	水産 2 級 工業用水 及び C の欄に 掲げるもの	7.8 以上 8.3 以下	3mg/ℓ以下	5mg/ℓ以上	-	検出されないこと。
C	環境保全	7.0 以上 8.3 以下	8mg/ℓ以下	2mg/ℓ以上	-	-
測定方法		規格 12.1 に定める方法又はガラス電極を用いる水質自動監視測定装置によりこれと同程度の計測結果の得られる方法	規格 17 に定める方法(ただし、B 類型の工業用水及び水産 2 級のうちノリ養殖の利水点における測定方法はアルカリ性法)	規格 32 に定める方法又は隔膜電極を用いる水質自動監視測定装置によりこれと同程度の計測結果の得られる方法	最確数による定量法	付表 10 に掲げる方法

備 考

1 水産 1 級のうち、生食用原料カキの養殖の利水点については、大腸菌群数 70MPN/100ml 以下とする。

2 アルカリ性法とは、次のものをいう。

試料 50ml を正確に三角フラスコにとり、水酸化ナトリウム溶液 (10w/v%) 1ml を加え、次に過マンガン酸カリウム溶液 (2mmol/l) 10ml を正確に加えたのち、沸騰した水溶液中に正確に 20 分放置する。その後よう化カリウム溶液 (10w/v%) 1ml とアジ化ナトリウム溶液 (4w/v%) 1 滴を加え、冷却後、硫酸 (2+1) 0.5ml を加えてよう素を遊離させて、それを力価の判明しているチオ硫酸ナトリウム溶液 (10mmol/l) ででんぷん溶液を指示薬として滴定する。同時に試料の代わりに蒸留水を用い、同様に処理した空試験値を求め、次式により COD 値を計算する。

$$\text{COD} (\text{O}_2\text{mg/l}) = 0.08 \times [(b) - (a)] \times f\text{Na}_2\text{S}_2\text{O}_3 \times 1000/50$$

(a) : チオ硫酸ナトリウム溶液 (10mmol/l) の滴定値 (ml) (b) : 蒸留水について行った空試験値 (ml)

fNa₂S₂O₃ : チオ硫酸ナトリウム溶液 (10mmol/l) の力価

(注) 1 自然環境保全 : 自然探勝等の環境保全

2 水 産 1 級 : マダイ、ブリ、ワカメ等の水産生物用及び水産 2 級の水産生物用

2 級 : ポラ、ノリ等の水産生物用

3 環境保全 : 国民の日常生活 (沿岸の遊歩道等を含む) において不快感を生じない限度

イ

項目 類型	利用目的の適応性	基 準 値	
		全 室 素	全 燐
	自然環境保全及び 以下の欄に掲げるもの (水産 2 種及び 3 種を除く。)	0.2mg/l 以下	0.02mg/l 以下
	水産 1 種 水浴及び 以下の欄に掲げるもの (水産 2 種及び 3 種を除く。)	0.3mg/l 以下	0.03mg/l 以下
	水産 2 種及び 以下の欄に掲げるもの (水産 3 種を除く。)	0.6mg/l 以下	0.05mg/l 以下
	水産 3 種 工業用水 生物生息環境保全	1mg/l 以下	0.09mg/l 以下
測定方法		規格 45.4 に定める方法	規格 46.3 に定める方法

備 考

1 基準値は、年間平均値とする。

2 水域類型の指定は、海洋植物プランクトンの著しい増殖を生ずるおそれがある海域について行うものとする。

(注) 1 自然環境保全 : 自然探勝等の環境保全

2 水 産 1 種 : 底生魚介類を含め多様な水産生物がバランスよく、かつ、安定して漁獲される

2 種 : 一部の底生魚介類を除き、魚類を中心とした水産生物が多獲される

3 種 : 汚濁に強い特定の水産生物が主に漁獲される

3 生物生息環境保全 : 年間を通して底生生物が生息できる限度

ウ

項目 類型	水生生物の生息状況の適応性	基 準 値	
		全 亜 鉛	
生 物 A	水生生物の生息する水域	0.02mg/l 以下	
生 物 特 A	生物 A の水域のうち、水生生物の産卵場 (繁殖場) 又は幼稚仔の生育場として特に保全が必要な水域	0.01mg/l 以下	
測定方法		規格 53 に定める方法 (準備操作は規格 53 に定める方法によるほか、付表 9 に掲げる方法によることができる。また、規格 53 で使用する水については付表 9 の 1(1) による。)	

< 有害物質等に関する基準 >

区分		土壌環境基準 1検液につき		水質汚濁防止法		土壌汚染対策法			県条例		熊本県地下水保全条例	
有害物質の種類	水質環境基準	土壌環境基準	排水基準	地下浸透基準	土壌含有量基準 [mg/kg・Dry]	土壌溶出量基準	土壌溶出量基準	第二溶出量基準	上乗せ排水基準	特別排水基準	対象化学物質を含む判定基準	
	検出されないこと	検出されないこと	0.1	0.001	150	検出されないこと	0.01	0.3	0.01	0.01		
カドミウム及びその化合物	シアン化合物	検出されないこと	1	0.1	50(遊離シアンとして)	検出されないこと	検出されないこと	1	0.1	0.1	0.1	
	有機リン化合物	-	1	0.1		検出されないこと		1	0.1	0.1	0.1	
	鉛及びその化合物	0.01	0.1	0.005	150	0.01	0.05	0.3	0.05	0.05	0.005	
	六価クロム化合物	0.05	0.5	0.04	250	0.05	0.05	1.5	0.05	0.05	0.04	
	砒素及びその化合物	0.01	0.1	0.005	150	0.01	0.01	0.3	0.01	0.01	0.005	
	水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物	0.0005	0.005	0.005	15	0.0005	0.0005	0.005	0.0005	0.0005	0.0005	
	アルキル水銀化合物	検出されないこと	検出されないこと	0.003	0.0005	15	検出されないこと	検出されないこと	検出されないこと	検出されないこと	0.0005	
	P C B	検出されないこと	0.03	0.3	0.002		検出されないこと	0.003	0.0005	0.0005	0.0005	
	トリクロロエチレン	0.03	0.03	0.3	0.002		0.03	0.03	0.3	0.03	0.002	
	テトラクロロエチレン	0.01	0.01	0.1	0.0005		0.01	0.01	0.1	0.01	0.0005	
ジクロロメタン	0.02	0.02	0.2	0.002		0.02	0.02	0.2	0.02	0.02	0.002	
	四塩化炭素	0.002	0.02	0.02	0.0002	0.002	0.002	0.02	0.002	0.002	0.0002	
	1,2-ジクロロエタン	0.004	0.04	0.04	0.0004	0.004	0.004	0.04	0.004	0.004	0.0004	
	1,1-ジクロロエチレン	0.02	0.02	0.2	0.002	0.02	0.02	0.2	0.02	0.02	0.002	
	シス-1,2-ジクロロエチレン	0.04	0.04	0.4	0.004	0.04	0.04	0.4	0.04	0.04	0.004	
	1,1,1-トリクロロエタン	1	1	3	0.0005	1	0.0005	3	0.3	0.3	0.0005	
	1,1,2-トリクロロエタン	0.006	0.06	0.06	0.0006	0.006	0.006	0.06	0.006	0.006	0.0006	
	1,3-ジクロロプロペン	0.002	0.02	0.02	0.0002	0.002	0.002	0.02	0.002	0.002	0.0002	
	チウラム	0.006	0.06	0.06	0.0006	0.006	0.006	0.06	0.006	0.006	0.0006	
	シマジン	0.003	0.03	0.03	0.0003	0.003	0.003	0.03	0.003	0.003	0.0003	
チオベンカルブ	0.02	0.02	0.2	0.002		0.02	0.02	0.2	0.02	0.02	0.002	
	ベンゼン	0.01	0.01	0.1	0.001		0.01	0.01	0.01	0.01	0.001	
	セレン及びその化合物	0.01	0.01	0.1	0.002	150	0.01	0.1	0.01	0.01	0.001	
		0.01	0.01	0.1	0.002		0.01	0.3	-	0.1	0.002	
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	10	-	100	2	アンモニア性窒素 0.7 亜硝酸性窒素 0.2 硝酸性窒素 0.2							
ふっ素及びその化合物	0.8	0.8	陸水域 8 海域 15	0.2	0.2	4000	0.8	0.8	24			
ほう素及びその化合物	1	1	陸水域 10 海域 230	0.2	0.2	4000	1	30				
ダイオキシン類	1pg-TEQ/l	1000pg-TEQ/g										

1 土壌環境基準は、農用地にあってはカドミウム（米 1 kgにつき 1 mg）、砒素（田に限り土壌 1 kgにつき 15 mg）、銅（田に限り土壌 1 kgにつき 125 mg）も併せて適用される。
2 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素の濃度と、アンモニウム性窒素に 0.4 を乗じた濃度の合計（アンモニウム、亜硝酸化合物及び硝酸化合物）

1. 特定事業場排水調査

(1) 調査目的

環境保全協定及び八代市公害防止条例に基づき、市独自に事業場排水の水質を把握するため、環境保全協定を締結している事業場や排水量 50 m³/日以上 of 特定事業場について調査を実施した。

(2) 調査を実施した特定事業場及び調査回数

特定事業場名	調査回数	排出先
日本製紙(株)八代工場	36	水無川
(株)興人八代工場	36	
メルシャン(株)八代工場	36	前川
YKKAP(株)九州事業所	36	八代海
ヤマハ熊本プロダクツ(株)	6	大島潮遊池
(株)児湯食鳥八代工場	18	近傍の水路から流藻川
城南製材協業組合	18	近傍の水路から流藻川
合資会社まるぜん海産	4	海士江排水路

(3) 調査項目

水温、透視度、pH、EC、SS、COD、BOD、大腸菌群数

(4) 測定方法

排水基準を定める省令の規定に基づく環境大臣が定める排水基準に係る検定方法（昭和49年9月30日環境庁告示第64号）に掲げられた方法。

(5) 調査結果の概要

8 特定事業場を対象に、延べ 190 検体について調査した。このうち、(株)児湯食鳥八代工場ではCODが、城南製材協業組合ではSS、CODが、合資会社まるぜん海産ではSS、CODがそれぞれ基準を超過したため、排水の水質改善を要請した。

特定事業場排水調査地点



表 - 1 平成19年度特定事業場排水水質調査結果

	調査項目	排水基準				排水水質調査結果					
		法定値		協定値		日平均			日最大		
		日平均	日最大	日平均	日最大	平均	最大	m/n	平均	最大	m/n
日本製紙(株) 八代工場	p H	5.8 ~ 8.6		5.8 ~ 8.6					6.7 ~ 7.1	0/36	
	S S	60	80	35	50	23	27	0/12	26	31	0/36
	C O D	90.8	120.7	75	99	43	54	0/12	47	56	0/36
	B O D	120	160			27	40	0/12	32	61	0/36
	大腸菌群数	3000				1012	2967	0/12			
(株)興人 八代工場	p H	5.8 ~ 8.6		5.8 ~ 8.6					6.7 ~ 7.5	0/36	
	S S	43.6	53.6	18.5	40.4	5.4	9	0/12	6.3	10	0/36
	C O D	43.6	53.6	42.4	48.7	10	19	0/12	13	28	0/36
	B O D	120	160			32	71	0/12	38	82	0/36
メルシャン(株) 八代工場	p H	5.8 ~ 8.6		5.8 ~ 8.6					6.9 ~ 7.6	0/36	
	S S (1 ~ 3月)	124.6	165.1	35	50	9.8	18	0/12	13	26	0/36
	S S (4 ~ 12月)	60.0	79.1								
	C O D	99.8	130.4	70	90	6.9	10	0/12	8.2	12	0/36
	B O D	120	160			<6.1	18	0/12	7.1	22	0/36
Y K K A P(株) 九州事業所	p H	5.8 ~ 8.6		5.8 ~ 8.6					6.6 ~ 7.5	0/36	
	S S	60	80	20	25	<3.1	6.5	0/12	4.7	15	0/36
	C O D	20	25	20	25	7.9	10	0/12	9.0	13	0/36
ヤマハ熊本 プロダクツ(株)	p H	5.8 ~ 8.6		5.8 ~ 8.6					7.5 ~ 7.7	0/6	
	S S	60	80	60	80				<1.7	2.8	0/6
	C O D	20	25	20	25				7.4	11	0/6
(株)児湯食鳥 八代工場	p H	5.8 ~ 8.6							7.3 ~ 7.9	0/18	
	S S	70	90			20	60	0/6	22	68	0/18
	C O D	50	60			26	59	1/6	27	60	1/18
	大腸菌群数	3000				575	1286	0/6			
城南製材 協業組合	p H	5.8 ~ 8.6				0/6			5.9 ~ 8.4	0/18	
	S S	60	80			46	80	2/6	71	180	2/18
	C O D	100	120			47	69	1/6	110	130	1/18
	B O D	120	160			<23	34	0/6	49	67	0/18
合資会社 まるぜん海産	p H	5.8 ~ 8.6							6.6 ~ 7.5	0/4	
	S S	70	90						4.7	15	1/4
	C O D	50	60						9.0	13	1/4

[備考] S S、C O D、B O Dの単位:[mg/l]、大腸菌群数の単位:[個/cm³]、m/n:基準超過回数/測定回数

排水基準は平成19年度当時のものを記載

2. 河川水質調査

(1) 調査目的

平成 19 年度は、市内の 2 級河川及び主要排水路等の 12 ケ所について、生活排水等による汚濁状況を把握するため調査した。

(2) 調査項目

pH、EC、DO、SS、BOD、COD、T-N、T-P、大腸菌群数

鏡支所建設課調査分の鏡川、園田川、新川及び都市下水路については、pH、DO、SS、BOD、大腸菌群数についてのみ実施。

(3) 測定方法

水質汚濁に係る環境基準について(昭和 46 年環境庁告示第 59 号)に掲げられた方法

(4) 調査地点

種別	地点 No.	調査地点名	採水地点の状況、河川の状況等
2 級河川		二見川 洲口橋	山間部。上流には二見地区の多数の集落がある。
		流藻川 千鳥橋	水田地帯。上流には高田・植柳の市街地が広がっている。
		水無川 戸崎橋	山間部から平野への出口。上流には東町の集落がある。
		氷川 泉支所	山間部。氷川ダム上流側。
		氷川 旧犬山橋	山間部。氷川ダム下流側。周辺に十数件の集落がある。
		鏡川	平野部。上流(八代農高裏堰)と下流(新鏡川橋)の 2 地点で実施。
河 準 川 用		園田川	平野部。上流(町民斎場裏)と中流(松村眼科前)の 2 地点で実施。
		新川	平野部。下流の郷開工業団地北側で実施。
その他の水路		海士江排水路	大鞘川の支流(旧八千把川)。水無川以北の排水が流入。新川の用水が流入し水量が多い。
		古城排水樋管	麦島地区の殆どの排水が流入している。前川へ流出。
		日奈久浜町排水路	塩鶴川以南～浜町の排水が流入。日奈久港へ流出。
		都市下水路(鏡町)	津口分譲地東側。野崎江北樋門より鏡川へ流出。

(5) 調査結果の概要

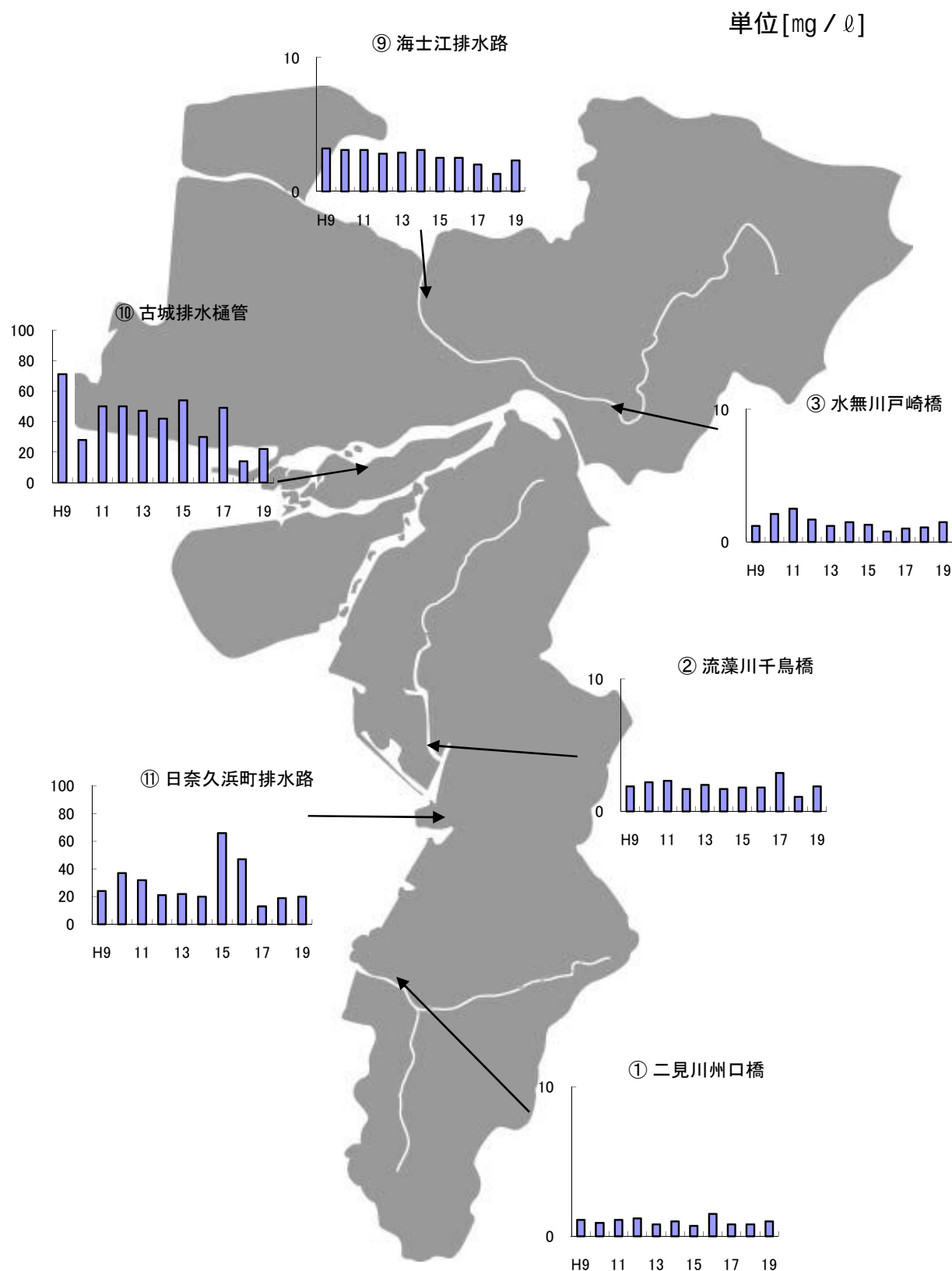
八代地域の各調査地点及びBODの経年変化を図 - 1 に、また年間の測定値及び水質経年変化を表 - 1 及び表 - 2 に掲げた。

昨年度から調査を開始した氷川は、水質汚濁に係る環境基準のA類型に指定されており、2地点とも大腸菌群数を除く項目について環境基準を満たしていた。

その他の地点については、水質汚濁に係る環境基準の類型は指定されていないが、BODを環境基準と照らして評価してみると、山間部を流れる二見川洲口橋でAA類型、平野部を流れる流藻川千鳥橋や水無川戸崎橋でA類型に相当する水質となっている。

一方、排水路の水質については、BODで見ると限り、海士江排水路では低い値を示しているものの、公共下水道が未整備である日奈久浜町排水路は高い値を示しており、依然として水質汚濁の程度が高い状況にある。また、公共下水道の整備が進められている古城排水樋管については、BOD値は昨年に引き続き比較的低い値を示し、DO値については年々高くなっている。その他の項目では大幅な変化はなかった。

図 - 1 各調査地点のBOD（年平均）の経年変化



鏡川、園田川、新川及び都市下水路の経年変化については省略

表 - 1 水質調査結果

二見川洲口橋

調査日	水温 ()	透視度	p H	E C (mS/m)	D O (mg/l)	S S (mg/l)	B O D (mg/l)	C O D (mg/l)	T - N (mg/l)	T - P (mg/l)	大腸菌群数 (MPN/100ml)
9月7日	29.5	> 50	7.8	30	9.4	5.0	1.0	2.4	0.7	0.076	3,300
2月20日	6.6	> 50	7.9	23	13.1	1.0	0.9	2.0	0.4	0.016	2,400
平 均	18.1		7.9	27	11.3	3.0	1.0	2.2	0.6	0.046	2,850

流藻川千鳥橋

調査日	水温 ()	透視度	p H	E C (mS/m)	D O (mg/l)	S S (mg/l)	B O D (mg/l)	C O D (mg/l)	T - N (mg/l)	T - P (mg/l)	大腸菌群数 (MPN/100ml)
9月7日	27.3	> 50	7.3	21	5.0	8.0	1.6	2.7	1.2	0.16	7,900
2月20日	8.4	> 50	7.4	22	8.9	2.0	2.2	2.7	1.2	0.10	4,000
平 均	17.9		7.4	22	7.0	5.0	1.9	2.7	1.2	0.13	5,950

水無川戸崎橋

調査日	水温 ()	透視度	p H	E C (mS/m)	D O (mg/l)	S S (mg/l)	B O D (mg/l)	C O D (mg/l)	T - N (mg/l)	T - P (mg/l)	大腸菌群数 (MPN/100ml)
9月7日	26.5	> 50	8.1	15	9.3	2.0	1.7	1.7	0.7	0.035	79,000
2月20日	5.3	14	7.9	15	12.3	<0.5	1.3	1.4	0.6	0.022	6,800
平 均	15.9		8.0	15	10.8	<1.3	1.5	1.6	0.6	0.029	42,900

氷川 泉支所 平成18年度から調査開始

調査日	水温 ()	透視度	p H	E C (mS/m)	D O (mg/l)	S S (mg/l)	B O D (mg/l)	C O D (mg/l)	T - N (mg/l)	T - P (mg/l)	大腸菌群数 (MPN/100ml)
9月11日	19.0	> 50	7.7	9.8	10.3	1.2	0.8	1.2	0.9	0.021	680
2月20日	4.0	> 50	7.7	10	12.1	0.8	1.1	0.6	0.4	0.012	78
平 均	11.5		7.7	9.9	11.2	1.0	1.0	0.9	0.6	0.017	379

氷川 旧犬山橋 平成18年度から調査開始

調査日	水温 ()	透視度	p H	E C (mS/m)	D O (mg/l)	S S (mg/l)	B O D (mg/l)	C O D (mg/l)	T - N (mg/l)	T - P (mg/l)	大腸菌群数 (MPN/100ml)
9月11日	21.5	> 50	8.0	11	10.0	3.0	1.3	0.9	0.7	0.020	3,300
2月20日	5.0	> 50	7.8	12	12.7	4.6	1.2	1.0	0.6	0.016	230
平 均	13.3		7.9	12	11.4	3.8	1.3	1.0	0.7	0.018	1,765

海士江排水路

調査日	水温 ()	透視度	p H	E C (mS/m)	D O (mg/l)	S S (mg/l)	B O D (mg/l)	C O D (mg/l)	T - N (mg/l)	T - P (mg/l)	大腸菌群数 (MPN/100ml)
9月7日	29.5	> 50	8.1	13	13.4	11	2.4	3.4	1.0	0.10	49,000
2月20日	17.4	> 50	7.7	13	11.9	3.0	2.2	3.0	1.4	0.09	22,000
平 均	23.5		7.9	13	12.7	7.0	2.3	3.2	1.2	0.09	35,500

古城排水樋門

調査日	水温 ()	透視度	p H	E C (mS/m)	D O (mg/ℓ)	S S (mg/ℓ)	B O D (mg/ℓ)	C O D (mg/ℓ)	T - N (mg/ℓ)	T - P (mg/ℓ)	大腸菌群数 (MPN/100mℓ)
9月7日	29.4	34	8.9	36	10.7	13	25	31	5.7	0.99	2,400,000
2月20日	9.8	42	7.3	56	12.4	22	18	31	10	1.5	6,800,000
平 均	19.6	38	8.1	46	11.6	18	22	31	7.9	1.2	4,600,000

日奈久浜町排水路

調査日	水温 ()	透視度	p H	E C (mS/m)	D O (mg/ℓ)	S S (mg/ℓ)	B O D (mg/ℓ)	C O D (mg/ℓ)	T - N (mg/ℓ)	T - P (mg/ℓ)	大腸菌群数 (MPN/100mℓ)
9月7日	29.5	40	6.9	1030	<0.5	14	32	25	2.6	0.84	2,400,000
2月20日	11.1	35	7.2	1530	5.8	6.0	7.6	9.9	3.1	0.53	170,000
平 均	20.3		7.1	1280	<3.2	10	20	17	2.9	0.69	1,285,000

表 - 2 水質経年変化

二見川 洲口橋

年度	測定回数	項目	pH	EC (mS/m)	DO (mg/ℓ)	SS (mg/ℓ)	BOD (mg/ℓ)	COD (mg/ℓ)	T - N (mg/ℓ)	T - P (mg/ℓ)	大腸菌群数 (10 ³ MPN/100mℓ)
H15	6	最小～最大 平均	7.6～8.0 7.8	13～30 23	6.0～13 9.5	1.0～5.5 3.1	0.5～1.0 0.7	1.4～3.2 2.1	0.61～1.4 0.89	0.010～1.42 0.27	1.3～94 33
H16	4	最小～最大 平均	7.6～7.8 7.7	18～25 22	8.6～12 9.5	1.1～4.9 1.6	0.9～3.1 1.5	1.6～6.6 3.3	0.68～1.1 0.94	0.019～0.10 0.058	8.6～33 17
H17	4	最小～最大 平均	7.6～8.1 7.9	21～30 25	8.2～14 11	1.7～4.5 2.7	0.7～1.0 0.8	0.8～1.9 1.4	0.80～0.84 0.83	0.040～0.071 0.055	1.4～2.8 1.9
H18	2	最小～最大 平均	7.7～8.0 7.9	25～29 27	8.3～13 11	1.1～2.1 1.6	0.6～0.9 0.8	1.3～1.9 1.6	0.62～0.89 0.76	0.024～0.039 0.032	22～35 29
H19	2	最小～最大 平均	7.8～7.9 7.9	23～30 27	9.4～13.1 11.3	1.0～5.0 3.0	0.9～1.0 1.0	2.0～2.4 2.2	0.42～0.68 0.55	0.016～0.076 0.046	2.4～3.3 2.9

流藻川 千鳥橋

年度	測定回数	項目	pH	EC (mS/m)	DO (mg/ℓ)	SS (mg/ℓ)	BOD (mg/ℓ)	COD (mg/ℓ)	T - N (mg/ℓ)	T - P (mg/ℓ)	大腸菌群数 (10 ³ MPN/100mℓ)
H15	6	最小～最大 平均	7.1～7.5 7.4	15～21 17	4.4～10 7.9	5.2～8.2 7.0	1.2～2.8 1.8	2.2～5.4 3.3	0.99～1.4 1.1	0.040～0.69 0.22	4.5～920 177
H16	4	最小～最大 平均	7.2～7.4 7.3	15～81 34	5.4～9.0 7.1	3.4～8.8 6.6	1.3～2.5 1.8	2.1～3.3 2.7	0.78～1.5 1.2	0.093～0.17 0.12	4.9～17 11
H17	4	最小～最大 平均	7.1～7.4 7.3	17～32 25	4.6～8.0 6.6	3.4～7.8 6.1	1.8～3.9 2.9	1.7～3.6 2.5	0.86～1.8 1.4	0.10～0.18 0.14	1.1～11 4.5
H18	2	最小～最大 平均	7.3～7.5 7.4	17～20 19	5.9～11 8.3	2.6～6.1 4.4	1.0～1.1 1.1	1.6～2.2 1.9	1.0～1.3 1.2	0.19～0.23 0.21	24～24 24
H19	2	最小～最大 平均	7.3～7.4 7.4	21～22 22	5.0～8.9 7.0	2.0～8.0 5.0	1.6～2.2 1.9	2.7～2.7 2.7	1.2～1.2 1.2	0.097～0.160 0.13	4.0～7.9 6.0

水無川 戸崎橋

年度	測定回数	項目	pH	EC (mS/m)	DO (mg/ℓ)	SS (mg/ℓ)	BOD (mg/ℓ)	COD (mg/ℓ)	T - N (mg/ℓ)	T - P (mg/ℓ)	大腸菌群数 (10 ³ MPN/100mℓ)
H15	6	最小～最大 平均	7.5～8.1 7.8	8.4～16 13	8.7～13 10	1.8～3.7 2.5	0.5～3.3 1.3	1.2～3.0 1.8	0.37～1.1 0.61	0.007～0.13 0.051	0.78～130 39
H16	4	最小～最大 平均	7.8～8.1 8	11～12 12	9.0～12 10	1.0～1.8 1.4	0.5～1.2 0.8	0.8～1.4 1.0	0.21～0.47 0.34	0.011～0.019 0.015	3.3～45 16
H17	4	最小～最大 平均	7.6～7.9 7.7	10～18 14	8.6～13 10	1.1～1.8 1.4	0.8～1.1 1.0	0.9～1.7 1.2	0.34～0.78 0.48	0.013～0.030 0.022	0.46～35 16
H18	2	最小～最大 平均	7.6～7.9 7.8	12～19 16	8.7～13 11	1.3～3.4 1.8	0.7～1.4 1.1	1.6～1.6 1.6	0.53～0.86 0.70	0.029～0.033 0.031	33～49 41
H19	2	最小～最大 平均	7.9～8.1 8	15～15 15	9.3～12.3 11	<0.5～2 <1.3	1.3～1.7 1.5	1.4～1.7 1.6	0.56～0.72 0.64	0.022～0.035 0.029	6.8～79 43

鏡川

年度	測定回数	採水地点	pH	EC (mS/m)	DO (mg/ℓ)	SS (mg/ℓ)	BOD (mg/ℓ)	COD (mg/ℓ)	T - N (mg/ℓ)	T - P (mg/ℓ)	大腸菌群数 (10 ³ MPN/100mℓ)
H15	1	上流	7.7	-	11.1	5.8	5.3	-	-	-	3.3
	1	下流	7.7	-	10.9	6.2	3.2	-	-	-	49
H16	1	上流	7.8	-	10.8	4.8	3.7	-	-	-	23
	1	下流	7.6	-	10.6	9.0	1.6	-	-	-	8.0
H17	1	上流	7.8	-	11.6	2.6	9.0	-	-	-	1.3
	1	下流	7.7	-	11.4	2.6	2.3	-	-	-	3.5
H18	1	上流	7.8	-	11.1	4.0	3.9	-	-	-	9.2
	1	下流	7.6	-	10.9	13	4.4	-	-	-	54
H19	1	上流	8.1	-	10.8	25.0	2.8	-	-	-	1.4
	1	下流	8.0	-	11.8	3.8	2.1	-	-	-	1.4

園田川

年度	測定回数	採水地点	pH	EC (mS/m)	DO (mg/ℓ)	SS (mg/ℓ)	BOD (mg/ℓ)	COD (mg/ℓ)	T - N (mg/ℓ)	T - P (mg/ℓ)	大腸菌群数 (10 ³ MPN/100mℓ)
H15	1	上流	8.8	-	14.2	1.4	1.3	-	-	-	11
	1	中流	8.2	-	12.4	1.2	1.0	-	-	-	3.0
H16	1	上流	8.3	-	12.9	2.0	1.1	-	-	-	13
	1	中流	8.0	-	12.2	2.4	1.2	-	-	-	8.0
H17	1	上流	8.3	-	13.5	2.2	1.8	-	-	-	3.9
	1	中流	8.0	-	12.2	3.2	1.8	-	-	-	33
H18	1	上流	8.9	-	14.0	1.4	1.2	-	-	-	14
	1	中流	8.4	-	11.6	2.2	1.9	-	-	-	2.6
H19	1	上流	8.8	-	13.3	2.4	<0.5	-	-	-	4.9
	1	中流	8.2	-	11.8	2.2	0.5	-	-	-	3.3

新川

年度	測定回数	採水地点	pH	EC (mS/m)	DO (mg/ℓ)	SS (mg/ℓ)	BOD (mg/ℓ)	COD (mg/ℓ)	T-N (mg/ℓ)	T-P (mg/ℓ)	大腸菌群数 (10 ³ MPN/100mℓ)
H15	1	下流	7.7	-	10.1	2.4	2.9	-	-	-	240
H16	1	下流	7.5	-	8.6	3.6	5.1	-	-	-	79
H17	1	下流	7.9	-	10.4	3.4	7.6	-	-	-	13
H18	1	下流	7.9	-	9.7	2.0	1.3	-	-	-	110
H19	1	下流	8.2	-	10.9	1.6	2.3	-	-	-	79

海士江排水路

年度	測定回数	項目	pH	EC (mS/m)	DO (mg/ℓ)	SS (mg/ℓ)	BOD (mg/ℓ)	COD (mg/ℓ)	T-N (mg/ℓ)	T-P (mg/ℓ)	大腸菌群数 (10 ³ MPN/100mℓ)
H15	6	最小～最大 平均	7.0～8.0 7.6	11～20 12	9.1～11 10	2.6～10 7.4	1.6～3.4 2.5	2.2～3.5 2.9	0.93～1.3 1.0	0.079～0.28 0.14	7.8～280 66
H16	4	最小～最大 平均	7.0～8.7 7.9	11～12 11	10～12 11	3.4～21 11	2.1～3.2 2.5	1.8～5.3 3.1	0.067～1.4 1.0	0.085～0.12 0.10	13～49 30
H17	4	最小～最大 平均	7.0～7.7 7.5	11～13 12	6.2～12 9.4	4.4～86 26	1.3～2.4 2.0	1.4～3.0 2.0	0.98～1.3 1.1	0.083～0.10 0.094	0.68～92 32
H18	2	最小～最大 平均	7.3～7.7 7.5	11～14 13	9.9～13 11	2.5～16 9.3	1.2～1.3 1.3	2.0～2.6 2.3	0.92～1.1 1.0	0.10～0.23 0.17	17～280 149
H19	2	最小～最大 平均	7.7～8.1 7.9	13～13 13	11.9～13.4 13	3.0～11 7.0	2.2～2.4 2.3	3.0～3.4 3.2	1.0～1.4 1.2	0.086～0.099 0.09	22～49 36

古城排水樋管

年度	測定回数	項目	pH	EC (mS/m)	DO (mg/ℓ)	SS (mg/ℓ)	BOD (mg/ℓ)	COD (mg/ℓ)	T-N (mg/ℓ)	T-P (mg/ℓ)	大腸菌群数 (10 ³ MPN/100mℓ)
H15	6	最小～最大 平均	6.3～7.0 6.8	16～45 29	1.3～4.0 2.2	6.5～93 31	15～110 54	11～74 39	3.1～18 9.1	0.31～4.5 1.5	110～79,000 19,497
H16	4	最小～最大 平均	7.0～7.3 7.1	20～34 29	1.7～5.2 3.0	11～17 14	23～38 30	16～25 19	5.0～10 7.7	1.2～1.5 1.3	330～7,900 2,513
H17	4	最小～最大 平均	6.7～7.3 7.0	28～360 117	1.5～7.5 4.0	23～41 32	9.7～83 49	7.9～35 24	5.4～23 13	1.4～2.9 2.0	27～24,000 6,504
H18	2	最小～最大 平均	6.9～7.5 7.2	29～31 30	3.5～9.3 6.4	11～22 17	10～17 14	17～32 25	8.6～11 9.8	1.0～1.4 1.2	2,800～3,500 3,150
H19	2	最小～最大 平均	7.3～8.9 8.1	36～56 46	10.7～12.4 12	13～22 18	18～25 22	31～31 31	5.7～10 7.9	0.99～1.5 1.2	2,400～6,800 4,600

日奈久浜町排水路

年度	測定回数	項目	pH	EC (mS/m)	DO (mg/ℓ)	SS (mg/ℓ)	BOD (mg/ℓ)	COD (mg/ℓ)	T-N (mg/ℓ)	T-P (mg/ℓ)	大腸菌群数 (10 ³ MPN/100mℓ)
H15	6	最小～最大 平均	5.8～7.4 6.7	750～3000 1450	0.5～5.4 2.4	13～66 38	15～200 66	10～99 34	2.2～7.8 4.9	0.21～1.6 0.84	330～49,000 13,827
H16	4	最小～最大 平均	6.3～7.3 7.0	89～1400 540	2.5～5.7 4.0	6.3～37 17	9.3～140 47	7.7～44 19	1.2～4.3 2.7	0.71～2.2 1.4	860～7,900 3,965
H17	4	最小～最大 平均	6.9～7.2 7.0	230～1800 660	0.7～5.1 2.9	5.3～18 12	2.4～22 13	3.2～12 6.8	1.5～5.3 3.3	0.70～0.98 0.89	32～35,000 9,466
H18	2	最小～最大 平均	6.5～7.1 6.8	420～1200 810	1.9～7.5 4.7	16～19 18	15～22 19	13～25 19	2.6～6.1 4.4	0.85～1.3 1.1	790～9,200 4,995
H19	2	最小～最大 平均	6.9～7.2 7.1	1030～1530 1280	<0.5～5.8 <3.2	6～14 10	7.6～32 20	9.9～25 17	2.6～3.1 2.9	0.53～0.84 0.69	170～2,400 1,285

都市下水路

年度	測定回数	採水地点	pH	EC (mS/m)	DO (mg/ℓ)	SS (mg/ℓ)	BOD (mg/ℓ)	COD (mg/ℓ)	T-N (mg/ℓ)	T-P (mg/ℓ)	大腸菌群数 (10 ³ MPN/100mℓ)
H15	1	津口分譲地	7.9	-	12.1	2.0	1.4	-	-	-	14
H16	1	〃	7.9	-	11.9	4.4	1.8	-	-	-	23
H17	1	〃	8.1	-	12.5	1.2	1.8	-	-	-	4.6
H18	1	〃	8.7	-	12.3	1.4	1.3	-	-	-	35
H19	1	〃	8.4	—	11.6	2.8	1.6	-	—	—	2.4

３．市関係施設排水調査

（１）調査目的

市関係施設から排出される排水等の水質状況を把握するため調査を実施した。

（２）対象施設

市衛生処理センター

毎月１回、排水の水質調査を実施。調査結果については表－１のとおり。

市清掃センター

年４回、水島最終処分場の排水の水質調査を実施。調査結果については表－２のとおり。

市水処理センター

毎月１回、流入水と排水の水質検査を実施。排水の調査結果については表－３のとおり。

表－１ 市衛生処理センター排水水質調査結果（平成１９年度）

分析項目	pH	SS (mg/ℓ)	COD (mg/ℓ)	BOD (mg/ℓ)	大腸菌群	全窒素 (mg/ℓ)	全磷 (mg/ℓ)	塩化物 イオン (mg/ℓ)	EC (mS/m)
４月	6.7	1.2	8.9	6.8	0	22	2.0	260	140
５月	6.6	1.2	14	3.2	0	18	1.5	380	150
６月	6.9	3.2	15	2.4	0	19	2.6	340	140
７月	7.6	1.0	20	3.5	0	12	1.5	370	150
８月	6.4	3.4	20	8.5	140	18	2.0	380	140
９月	7.0	7.0	13	7.0	0	17	1.6	560	140
１０月	6.7	5.0	16	6.1	0	30	2.5	510	150
１１月	6.6	8.0	16	12	0	21	1.8	370	150
１２月	6.5	3.4	15	4.3	0	25	1.2	350	140
１月	6.5	4.6	14	5.7	0	22	2.1	350	140
２月	6.8	3.2	11	4.0	3	18	2.3	350	150
３月	6.5	3.0	14	4.3	0	18	2.0	380	140
年間平均	6.7	3.7	15	5.7	12	20	1.9	383	144

市関係施設排水等有害物質調査地点



表 - 2 水島最終処分場排水水質調査結果

(単位: mg/l)

採水日 項目	H19.6.16	H19.9.14	H19.12.18	H20.3.18
カドミウム及びその化合物	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
シアン化合物	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
有機リン化合物	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
鉛及びその化合物	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
六価クロム化合物	<0.02	0.02	<0.02	<0.02
ヒ素及びその化合物	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004
水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
アルキル水銀	N.D	N.D	N.D	N.D
P C B	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
トリクロロフェン	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
テトラクロロフェン	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
ジクロロメタン	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
四塩化炭素	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
1,2-ジクロロエタン	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
1,1-ジクロロフェン	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
1,2,3-トリクロロフェン	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
1,1,1-トリクロロエタン	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
1,1,2-トリクロロエタン	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
1,3-ジクロロプロペン	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
チウラム	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006
シマジン	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
チオベンカルブ	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
ベンゼン	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
セレン及びその化合物	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005

表 - 3 水処理センター排水水質調査結果

項目	採水日												年平均	最大
	1回目 H19.4.26	2回目 H19.5.16	3回目 H19.6.13	4回目 H19.7.12	5回目 H19.8.8	6回目 H19.9.13	7回目 H19.10.17	8回目 H19.11.14	9回目 H19.12.12	10回目 H20.1.16	11回目 H20.2.13	12回目 H20.3.12		
総窒素含有量（総和法）	11	16	15	7.2	11	12	15	13	13	13	15	16	13	16
有機態窒素	0.73	0.85	0.68	1.0	0.83	0.81	1.2	0.9	0.95	1.1	0.95	1.5	1.0	1.5
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素（NOx）	1.5	3.0	1.1	1.4	1.5	1.6	1.1	2.1	1.8	0.65	0.05	0.9	1.4	3.0
アンモニア性窒素	9.3	12	13	4.8	9.2	9.8	13	10	10	11	14	14	11	14
亜硝酸性窒素	0.18	0.24	<0.01	<0.01	0.05	0.05	0.05	0.08	0.11	0.05	0.01	0.11	<0.08	0.24
燐含有量	0.09	0.11	0.10	0.13	0.08	0.10	0.13	0.22	0.13	0.17	0.38	0.40	0.17	0.40
カドミウム及びその化合物	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
シアン化合物	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
有機燐化合物	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
鉛及びその化合物	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
六価クロム化合物	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
砒素及びその化合物	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
アルキル水銀化合物	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
P C B	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
トリクロロエチレン	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
テトラクロロエチレン	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
ジクロロメタン	0.0002	0.0003	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.0002	0.0003	<0.0002	0.0004	0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.0004
四塩化炭素	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
1,2-ジクロロエタン	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
1,1-ジクロロエチレン	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
シス-1,2-ジクロロエチレン	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
1,1,1-トリクロロエタン	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
1,1,2-トリクロロエタン	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
1,3-ジクロロプロペン	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
チウラム	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006
シマジン	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
チオベンカルブ	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
ベンゼン	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
セレン及びその化合物	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
ほう素及びその化合物	0.05	0.07	0.07	0.04	0.07	0.06	0.09	0.06	0.06	0.08	0.05	0.05	0.06	0.09
ふっ素及びその化合物	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	0.08
フェノール類	<0.025	<0.025	<0.025	<0.025	<0.025	<0.025	<0.025	<0.025	<0.025	<0.025	<0.025	<0.025	<0.025	<0.025
銅及びその化合物	0.002	0.002	0.001	0.002	0.003	0.002	0.005	0.002	0.001	0.001	0.002	0.001	0.002	0.005
亜鉛及びその化合物	0.014	0.015	0.017	0.015	0.015	0.018	0.018	0.02	0.021	0.021	0.029	0.015	0.018	0.029
鉄及びその化合物（溶解性）	0.03	0.034	0.03	0.02	0.015	0.023	0.029	0.022	0.023	0.023	0.028	0.023	0.025	0.034
マンガン及びその化合物（溶解性）	0.056	0.032	0.022	0.032	0.016	0.025	0.032	0.02	0.017	0.03	0.032	0.028	0.029	0.056
クロム及びその化合物	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
ノルマルヘキサン抽出物質（鉱油類含有量）	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5
ノルマルヘキサン抽出物質（動植物油類含有量）	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5
陰イオン界面活性剤（M B A S）	0.03	0.03	0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	0.04	0.06	0.03	<0.03	0.06

(単位：mg/l)

4 . ゴルフ場に関する農薬調査

(1) 調査場所及び測定項目等

調 査 場 所	調査検体	調査項目
ゴルフ場排水 (A, E)	2	殺虫剤 4 項目 殺菌剤 15 項目 除草剤 10 項目
周 辺 の 地 下 水	1	
河 川 水 (二 見 川)	1	

(2) 調査対象ゴルフ場

八代ゴルフ倶楽部 (八代グリーン開発株)

(3) 調査年月日

平成 19 年 10 月 16 日 (火)

(4) 調査項目

「 熊本県ゴルフ場における農薬の安全使用に関する指導要綱 」 で使用が許されている 30 項目の農薬の内、熊本県の 「 農薬安全使用基準 」 及びゴルフ場から提出されている農薬使用計画書の内容を考慮し、29 項目について調査した。

(5) 測定方法

ゴルフ場で使用される農薬による水質汚濁の防止に係る暫定指針 (平成 2 年環水土第 77 号水質保全局通知) で定められた方法。暫定指針に無い項目に関しては、環境省が定めている分析方法で測定した。

(6) 調査結果の概要

ゴルフ場排水、周辺の地下水及び河川の全ての調査地点において 「 熊本県ゴルフ場における農薬の安全使用指針 」 に挙げられた管理指針値以下であった。

[農薬調査結果]

(単位：mg/l)

調査場所 調査項目		排水水			地下水	河川水	
		A	E	指針値 ¹		二見川	指針値 ²
殺虫剤	フェニトロチオン(MEP)	<0.0003	<0.0003	0.03	<0.0003	<0.0003	0.003
	クロルピリホス	<0.0004	<0.0004	0.04	<0.0004	<0.0004	
	チオジカルブ	<0.008	<0.008	0.8	<0.008	<0.008	
	クロチアニジン	<0.02	<0.02	2	<0.02	<0.02	
殺菌剤	イプロジオン	<0.03	<0.03	3	<0.03	<0.03	
	オキシ銅(有機銅)	<0.004	<0.004	0.4	<0.004	<0.004	0.04
	キャブタン	<0.03	<0.03	3	<0.03	<0.03	
	クロロタロニル(TPN)	<0.004	<0.004	0.4	<0.004	<0.004	0.04
	クロロネブ	<0.005	<0.005	0.5	<0.005	<0.005	
	トリクロホスメチル	<0.008	<0.008	0.8	<0.008	<0.008	
	フルトラニル	<0.02	<0.02	2	<0.02	<0.02	
	メタラキシル	<0.005	<0.005	0.5	<0.005	<0.005	
	メブロニル	<0.01	<0.01	1	<0.01	<0.01	
	アゾキシストロビン	<0.05	<0.05	5	<0.05	<0.05	
	イミノクタジン酢酸塩	<0.0006	<0.0006	0.06	<0.0006	<0.0006	
	プロピコナゾール	<0.005	<0.005	0.5	<0.005	<0.005	
	ホセチル	<0.23	<0.23	23	<0.23	<0.23	
	ポリカーバメイト	<0.003	<0.003	0.3	<0.003	<0.003	
	チオフアネートメチル	<0.03	<0.03	3	<0.03	<0.03	
除草剤	アシュラム	<0.02	<0.02	2	<0.02	<0.02	
	ジチオビル	<0.0008	<0.0008	0.08	<0.0008	<0.0008	
	トリクロピル	<0.0006	<0.0006	0.06	<0.0006	<0.0006	
	ナプロバミド	<0.003	<0.003	0.3	<0.003	<0.003	
	プロピザミド	<0.0008	<0.0008	0.008	<0.0008	<0.0008	0.008
	ペンディメタリン	<0.005	<0.005	0.5	<0.005	<0.005	
	シデュロン	<0.03	<0.03	3	<0.03	<0.03	
	ハロスルフロメチル	<0.003	<0.003	0.3	<0.003	<0.003	
	フラザスルフロ	<0.003	<0.003	0.3	<0.003	<0.003	
	シクロスルファミロン	<0.008	<0.008	0.08	<0.008	<0.008	

[備考]

1. 指針値¹は、「熊本県ゴルフ場における農薬の安全管理指針」に揚げられた排水の水質に係る管理指針値のこと。
2. 指針値²は、水質環境基準要監視項目の指針値のこと。
3. 地下水の指針値は、排水の指針値に1/10を乗じて得た値。

5. 特定事業場等の有害物質調査

(1) 調査目的

水質汚濁防止法及び熊本県地下水保全条例に基づき有害物質の使用届出があった特定事業場の排水水について、排出のおそれのある有害物質を対象に調査を実施した。

(2) 調査年月日

1 回目:平成 19 年 11 月 21 日(水)

2 回目:平成 20 年 3 月 12 日(水)

(3) 調査した事業場及び測定項目等

事業場名	調査項目	排出先
日本製紙(株)八代工場	総水銀、P C B	水無川
Y K K A P (株)九州事業所	六価クロム	八代海
ヤマハ熊本プロダクツ(株)	六価クロム	大島潮遊池

(4) 測定方法

排水基準を定める省令の規定に基づく環境大臣が定める排水基準に係る検定方法(昭和 49 年 9 月環境庁告示第 64 号)に掲げられた方法。

(5) 調査結果の概要

次表のとおり、全て基準値以下であった。

有害物質調査結果(上段 1 回目:下段 2 回目)

単位 [mg/ℓ]

事業場名 \ 項 目	六価クロム	総水銀	P C B
日本製紙(株)八代工場		<0.0005	<0.0005
		<0.0005	<0.0005
Y K K A P (株)九州事業所	<0.04		
	<0.04		
ヤマハ熊本プロダクツ(株)	<0.04		
	<0.04		
上乗せ排水基準値	0.05	0.0005	0.0005
特別排水基準値	0.05	0.0005	0.0005

特定事業場等の有害物質調査地点



6. 平成 19 年度熊本県水質調査結果（「平成 19 年度水質調査報告書（公共用水域及び地下水）」（熊本県）より）

< 県内の調査結果（概要） >

○ 健康項目の環境基準の達成状況

平成 19 年度は、河川 78 地点、湖沼（ダム）4 地点、海域 30 地点で延べ 2,708 項目について調査を行った結果、全ての地点において環境基準を達成していた。

○ BOD 又は COD の環境基準の達成状況

平成 19 年度は、河川 120 地点、湖沼（ダム）4 地点、海域 54 地点において調査を行った結果、環境基準点における水質は、図 - 2 のとおりで、河川の BOD では環境基準達成率 93.8%、湖沼（ダム）の COD では同 100%、海域の COD では同 73.7%であった。

図 - 1 水質環境調査地点（八代市域）

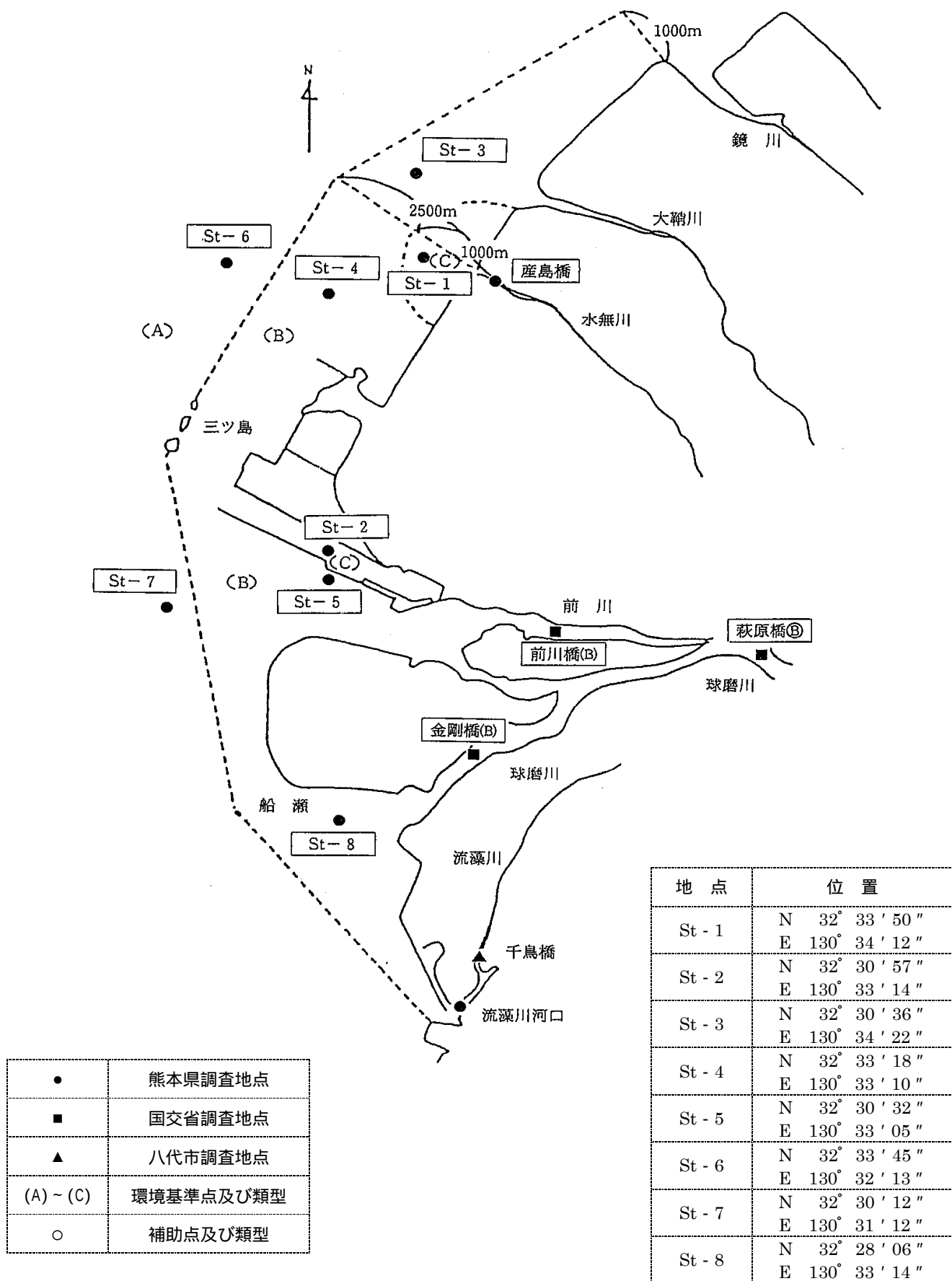


図 - 2 県内の川や海の水質環境基準類型図及び水質の状況（平成 19 年度）

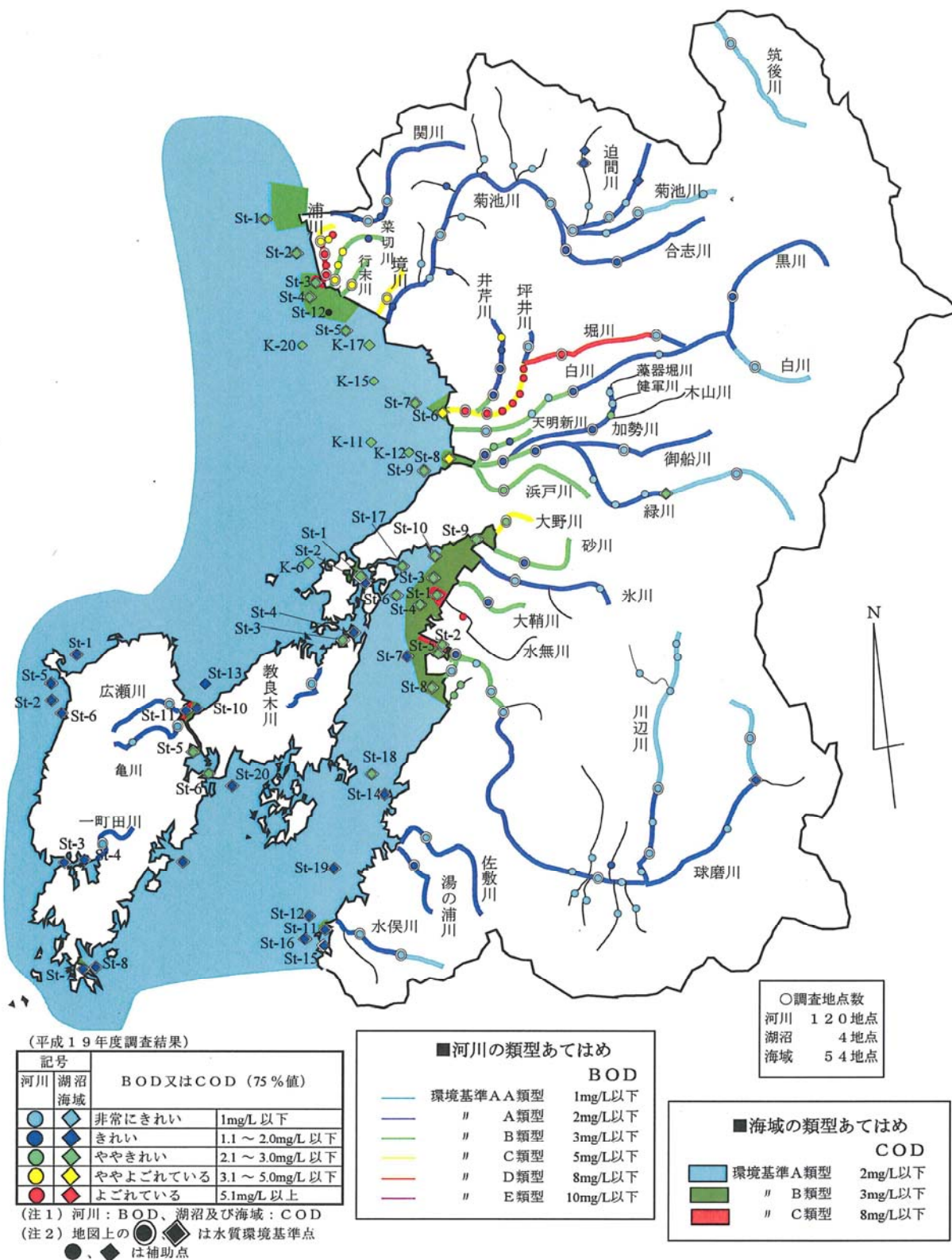


表 - 1 - 1 河川の環境基準達成状況

水域名及び年月日	河川名	水域 下段：範囲	基準点 (補助点) 下段：所在地	環境基準		年度	基準に適合しない日数 総測定日数	基準に適合しない日数の割合 (%)	BOD [mg/l]		達成の可否	19年度 水域の 達成の 可否
				類型	基準値				平均値	75%値		
球磨川	球磨川	球磨川上流 市房ダムより上流	市房ダム 水上村	A A	1	15	0/12	0	0.5	<0.5	○	○
						16	0/12	0	0.5	<0.5	○	
						17	0/11	0	<0.5	<0.5	○	
						18	0/12	0	<0.5	<0.5	○	
						19	0/12	0	0.5	<0.5	○	
		球磨川中流 市房ダムから坂本橋まで	西瀬橋 人吉市	A	2	15	0/12	0	0.7	0.7	○	○
						16	0/12	0	0.7	0.8	○	
						17	0/11	0	0.8	0.9	○	
						18	0/12	0	0.7	0.7	○	
						19	0/12	0	0.7	0.9	○	
			坂本橋 八代市	A	2	15	0/12	0	0.9	1.1	○	
						16	0/12	0	0.9	1.0	○	
						17	0/12	0	0.9	1.0	○	
						18	0/12	0	0.7	0.9	○	
						19	0/12	0	0.7	1.0	○	
		球磨川下流 坂本橋より下流	横石 八代市	B	3	15	0/12	0	0.6	0.7	○	○
						16	0/12	0	0.7	0.9	○	
						17	0/11	0	0.8	0.9	○	
						18	0/12	0	0.7	0.7	○	
						19	0/12	0	0.7	0.7	○	
			新萩原橋 八代市	B	3	15	0/12	0	0.7	0.8	○	
						16	0/12	0	0.7	0.9	○	
						17	0/11	0	0.8	1.0	○	
						18	0/12	0	0.7	0.8	○	
						19	0/12	0	0.8	0.9	○	
		球磨川下流 (旧南川)	金剛橋 八代市	B	3	15	0/12	0	0.8	0.9	○	○
						16	0/12	0	0.6	0.7	○	
						17	0/11	0	0.9	0.9	○	
						18	0/12	0	0.8	0.9	○	
						19	0/12	0	0.8	1.0	○	
	川辺川	川辺川上流 藤田より上流	藤田 相良村	A A	1	15	0/12	0	0.5	<0.5	○	○
						16	0/12	0	0.5	<0.5	○	
						17	0/11	0	0.5	<0.5	○	
						18	0/12	0	0.5	<0.5	○	
						19	0/12	0	<0.5	<0.5	○	
		川辺川下流 藤田より下流	永江橋 相良村	A	2	15	0/12	0	0.5	<0.5	○	○
						16	0/12	0	0.5	<0.5	○	
						17	0/11	0	<0.5	<0.5	○	
						18	0/12	0	0.5	<0.5	○	
						19	0/12	0	0.5	<0.5	○	
	前川	前川 全域	前川橋 八代市	B	3	15	0/12	0	0.7	0.8	○	○
						16	0/12	0	0.8	0.8	○	
						17	0/11	0	0.8	0.9	○	
						18	0/12	0	0.8	0.9	○	
						19	0/12	0	0.8	1.1	○	

1. この表は、環境基準の類型が指定されている水域の環境基準について整理した。
2. 「基準に適合しない日数の割合」については、25%以内のものを環境基準達成、25%を超えるものを未達成とした。
3. 平成20年4月1日から横石、新萩原橋、金剛橋及び前川橋の各基準点はA類型に改正。

表 - 1 - 1 河川の環境基準達成状況

水域名及び年月日	河川名	水域 下段：範囲	基準点 (補助点) 下段：所在地	環境基準		年度	基準に適合しない日数 総測定日数	基準に適合しない日数の割合 (%)	BOD [mg/l]		達成の可否	19年度 水域の達成の可否
				類型	基準値				平均値	75%値		
氷川	氷川	氷川全域	氷川橋 氷川町	A	2	15	0/12	0	0.9	1.0	○	○
						16	0/12	0	0.7	0.7	○	
						17	1/12	8.3	1.0	1.1	○	
						18	0/12	0	0.7	0.7	○	
						19	0/12	0	0.7	0.8	○	
		氷川中流 坂本橋から 氷川ダムまで	(白岩戸) 八代市	A	2	15	0/4	0	0.8	0.9	○	○
						16	0/4	0	0.8	1.0	○	
						17	0/4	0	0.7	0.8	○	
						18	0/4	0	0.7	0.8	○	
						19	0/4	0	0.5	0.5	○	
		氷川ダム	(氷川ダム 貯水池) 八代市	A	2	15	12/36	33.3	2.2	2.5	×	○
						16	2/12	16.7	1.4	1.5	○	
						17	2/12	16.7	1.3	1.6	○	
						18	0/36	0	0.8	1.0	○	
						19	1/36	2.8	1.0	1.2	○	
大鞘川	大鞘川	大鞘川全域	第二大鞘川 八代市	B	3	15	2/12	16.7	1.9	1.8	○	○
						16	2/12	16.7	2.2	2.5	○	
						17	1/12	8.3	1.8	1.6	○	
						18	2/12	16.7	1.8	1.4	○	
						19	2/12	16.7	1.9	2.0	○	

1. この表は、環境基準の類型が指定されている水域の環境基準について整理した。
2. 「基準に適合しない日数の割合」については、25%以内のものを環境基準達成、25%を超えるものを未達成とした。

表 - 1 - 2 海域の環境基準達成状況

水域名及び年月日	基準点 (所在地)	環境基準		年度	基準に適合しない日数 総測定日数	基準に適合しない日数の割合 (%)	C O D [mg/l]		達成の可否	19年度水域の達成の可否
		類型	基準値				平均値	75%値		
八代海地先 S 46・5・25	八代地先海域 (甲) S t - 1 (水無川河口)	C	8	15	0/12	0.0	2.3	2.8	○	○
				16	0/12	0.0	2.3	2.8	○	
				17	0/12	0.0	3.5	3.8	○	
				18	0/12	0.0	3.2	3.4	○	
				19	1/12	8.3	2.9	2.9	○	
	八代港 S t - 2 (八代港内)	C	8	15	0/6	0.0	1.8	2.0	○	○
				16	0/6	0.0	1.8	2.0	○	
				17	0/6	0.0	2.7	3.0	○	
				18	0/6	0.0	2.3	2.6	○	
				19	0/6	0.0	2.2	2.4	○	
	八代地先海域 (乙) S t - 3 (大鞘川地先)	B	3	15	0/12	0.0	1.9	2.2	○	○
				16	0/12	0.0	1.9	2.2	○	
				17	2/12	16.7	2.6	2.5	○	
				18	1/12	8.3	2.5	2.5	○	
				19	0/12	0.0	2.3	2.7	○	
	八代地先海域 (乙) S t - 4 (水無川地先)	B	3	15	1/12	8.3	2.0	2.1	○	
				16	1/12	8.3	2.0	2.1	○	
				17	1/12	8.3	2.4	2.7	○	
				18	1/12	8.3	2.3	2.5	○	
				19	0/12	0.0	2.2	2.5	○	
	八代地先海域 (乙) S t - 5 (前川河口)	B	3	15	0/12	0.0	1.5	1.7	○	
				16	0/12	0.0	1.5	1.7	○	
				17	2/12	16.7	2.2	2.4	○	
				18	0/12	0.0	1.9	2.1	○	
				19	0/12	0.0	2.2	2.5	○	
	八代地先海域 (乙) S t - 8 (南川河口)	B	3	15	0/12	0.0	1.7	1.9	○	
				16	0/12	0.0	1.7	1.8	○	
				17	1/12	8.3	2.3	2.6	○	
				18	0/12	0.0	1.8	2.1	○	
				19	0/12	0.0	2.0	2.2	○	
	八代地先海域 (丙) S t - 6 (水無川地先)	A	2	15	3/12	25.0	1.7	1.7	○	×
				16	3/12	25.0	1.7	1.7	○	
				17	8/12	66.7	2.5	2.5	×	
				18	11/12	91.7	2.5	2.4	×	
				19	7/12	58.3	2.1	2.3	×	
	八代地先海域 (丙) S t - 7 (前川地先)	A	2	15	3/12	25.0	1.6	1.7	○	
				16	3/12	25.0	1.6	1.7	○	
				17	5/12	41.7	2.0	2.2	×	
				18	5/12	41.7	2.0	2.2	×	
				19	3/12	25.0	1.9	2.0	○	

1. この表は、環境基準の類型が指定されている水域の環境基準について整理した。

2. 「基準に適合しない日数の割合」については、25%以内のものを環境基準達成、25%を超えるものを未達成とした。

3. COD測定方法は平成10年度からアルカリ性法から酸性法へ変更された。

(1) 生活環境項目 (B O D又はC O D) 測定結果

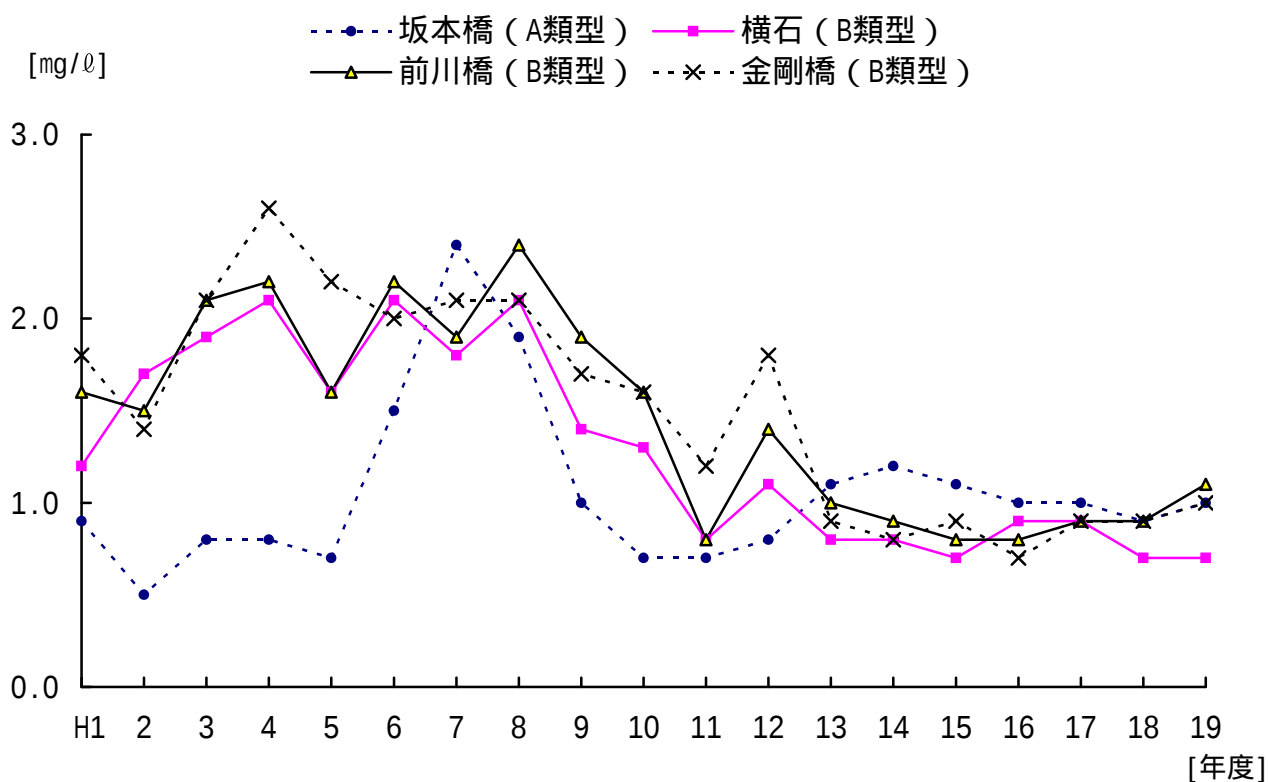
球磨川水域(環境基準の類型指定：S46.5.25 上乘せ排水基準の設定：S47.12.27)

球磨川は、県南部の大半を流域圏とする本県最大の一級河川で、本川及び支川の川辺川、最下流で分流する前川、南川に環境基準があてはめられている。

本川上流 (A A類型、基準点：市房ダム) 中流 (A類型、基準点：坂本橋) 下流 (B類型、基準点：横石) 最下流で分流する前川 (全域B類型、基準点：前川橋) 及び球磨川下流 (旧南川)(全域B類型、基準点：金剛橋) では、環境基準が達成された。

支川の川辺川では、上流 (A A類型、基準点：藤田) 下流 (A類型、基準点：永江橋) とともに環境基準が達成された。

図 - 3 球磨川水域の水質経年変化 (B O D75%値)



八代地先海域（類型指定：S 46.5.25 上乗せ排水基準の設定：S 47.12.27）

八代地先海域（A類型：2地点、B類型：4地点、C類型：2地点）のうち、B類型及びC類型では環境基準が達成されたが、A類型では達成されなかった。

図 - 4 八代地先海域の水質経年変化（COD75%値）

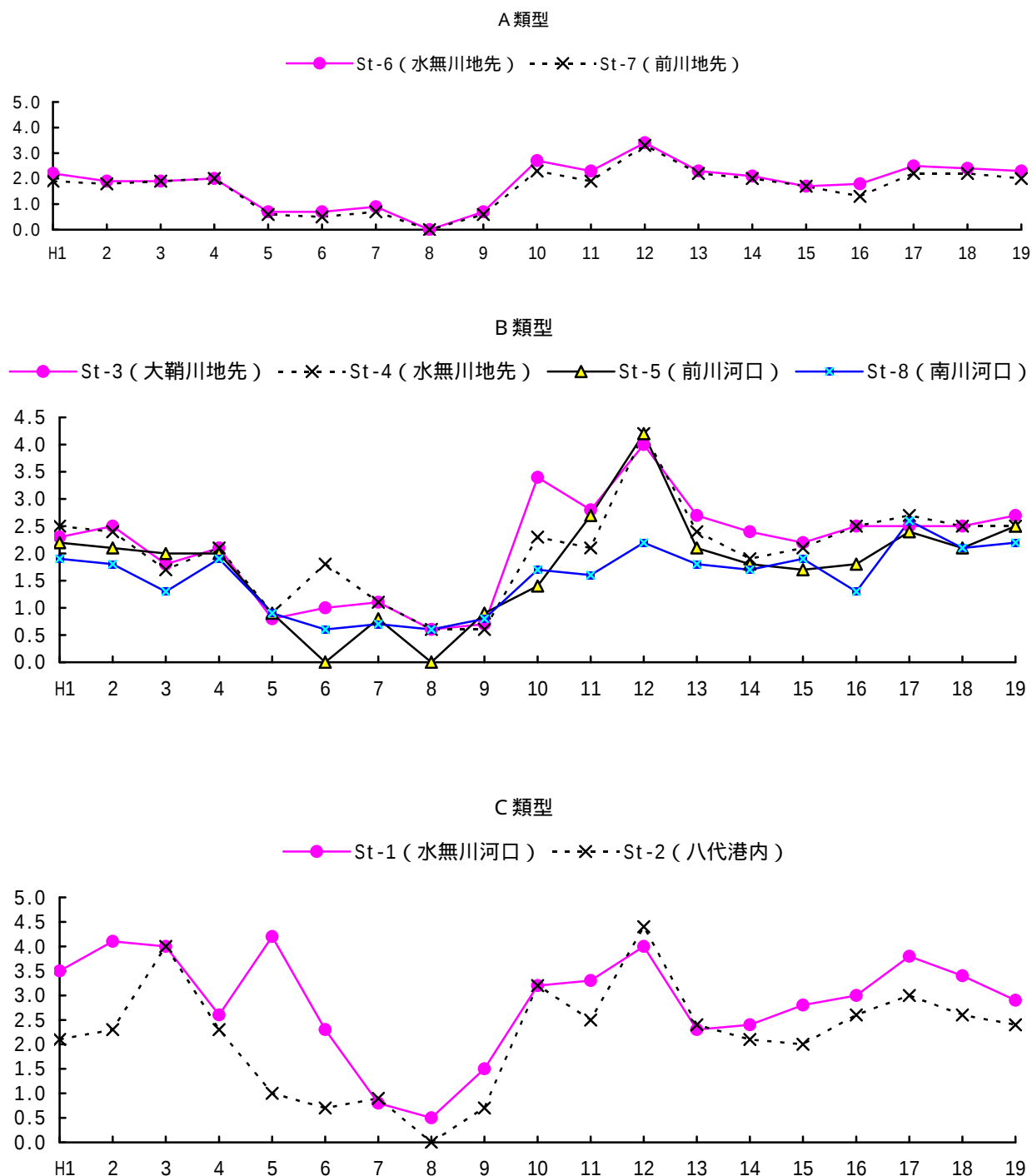


表 - 2 球磨川水域の環境基準達成状況 (B O D)

年度 地点名		[mg / ℓ]																		
		H1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
市房ダム (A A)	平均値	0.7	1.0	1.1	1.3	0.8	1.0	0.7	0.7	<0.5	0.5	0.6	<0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	<0.5	<0.5	0.5
	75%値	0.6	1.4	1.3	1.3	1.2	1.2	0.8	0.6	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5
坂 本 橋 (A)	平均値	0.8	0.6	0.7	0.8	0.7	1.4	2.0	1.8	0.8	0.6	0.6	0.7	0.9	1.0	0.9	0.9	0.9	0.7	0.7
	75%値	0.9	0.5	0.8	0.8	0.7	1.5	2.4	1.9	1.0	0.7	0.7	0.8	1.1	1.2	1.1	1.0	1.0	0.9	1.0
横 石 (B)	平均値	1.3	1.4	1.6	1.8	1.5	1.8	1.8	1.9	1.3	1.1	0.8	0.9	0.8	0.7	0.6	0.7	0.8	0.7	0.7
	75%値	1.2	1.7	1.9	2.1	1.6	2.1	1.8	2.1	1.4	1.3	0.8	1.1	0.8	0.8	0.7	0.9	0.9	0.7	0.7
新萩原橋 (B)	平均値	1.4	1.4	1.5	1.9	1.6	2.2	1.8	1.7	1.3	1.3	0.9	1.0	1.0	0.8	0.7	0.7	0.8	0.7	0.8
	75%値	1.5	1.7	1.8	2.1	1.9	2.6	2.0	1.8	1.6	1.4	0.8	1.4	0.9	1.0	0.8	0.9	1.0	0.8	0.9
前 川 橋 (B)	平均値	1.3	1.2	1.7	1.9	1.4	1.8	1.8	2.0	1.5	1.3	1.1	1.2	1.1	0.7	0.7	0.8	0.8	0.8	0.8
	75%値	1.6	1.5	2.1	2.2	1.6	2.2	1.9	2.4	1.9	1.6	0.8	1.4	1.0	0.9	0.8	0.8	0.9	0.9	1.1
金 剛 橋 (B)	平均値	1.4	1.4	1.8	2.2	1.9	1.9	1.8	1.9	1.5	1.2	1.0	1.3	0.9	0.7	0.8	0.6	0.9	0.8	0.8
	75%値	1.8	1.4	2.1	2.6	2.2	2.0	2.1	2.1	1.7	1.6	1.2	1.8	0.9	0.8	0.9	0.7	0.9	0.9	1.0

表 - 3 八代地先海域の環境基準達成状況 (C O D)

年度 地点名		[mg / ℓ]																		
		H1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
S t - 1 (C)	平均値	3.4	4.0	3.5	2.6	3.0	2.0	1.2	0.7	1.3	3.8	2.6	3.7	2.0	2.2	2.3	2.1	3.5	3.2	2.9
	75%値	3.5	4.1	4.0	2.6	4.2	2.3	0.8	0.5	1.5	3.2	3.3	4.0	2.3	2.4	2.8	2.5	3.8	3.4	2.9
S t - 2 (C)	平均値	2.0	2.0	3.5	2.2	0.9	0.9	0.9	0.5	0.6	2.2	2.1	3.4	1.9	1.7	1.8	2.0	2.7	2.3	2.2
	75%値	2.1	2.3	4.0	2.3	1.0	0.7	0.9	<0.5	0.7	3.2	2.5	4.4	2.4	2.1	2.0	2.3	3.0	2.6	2.4
S t - 3 (B)	平均値	2.2	2.2	1.8	2.0	0.7	0.9	1.1	0.7	0.8	2.5	2.4	3.1	2.3	2.0	1.9	2.0	2.6	2.5	2.3
	75%値	2.3	2.5	1.8	2.1	0.8	1.0	1.1	0.6	0.7	3.4	2.8	4.0	2.7	2.4	2.2	2.5	2.5	2.5	2.7
S t - 4 (B)	平均値	2.3	2.2	1.8	2.0	0.8	1.1	1.1	0.5	0.8	1.8	1.8	3.1	2.0	1.7	2.0	1.9	2.4	2.3	2.2
	75%値	2.5	2.4	1.7	2.1	0.9	1.8	1.1	0.6	0.6	2.3	2.1	4.2	2.4	1.9	2.1	2.5	2.7	2.5	2.5
S t - 5 (B)	平均値	2.1	1.9	1.8	1.9	0.8	0.6	0.8	0.6	0.7	1.4	2.0	3.1	1.8	1.6	1.5	1.6	2.2	1.9	2.2
	75%値	2.2	2.1	2.0	2.0	0.9	<0.5	0.8	<0.5	0.9	1.4	2.7	4.2	2.1	1.8	1.7	1.8	2.4	2.1	2.5
S t - 8 (B)	平均値	1.8	1.6	1.3	1.6	0.8	0.6	0.7	0.7	0.7	1.5	1.5	1.9	1.7	1.7	1.7	1.0	2.3	1.8	2.0
	75%値	1.9	1.8	1.3	1.9	0.9	0.6	0.7	0.6	0.8	1.7	1.6	2.2	1.8	1.7	1.9	1.3	2.6	2.1	2.2
S t - 6 (A)	平均値	2.2	1.7	1.7	1.9	0.6	0.6	0.9	0.5	0.6	2.1	1.8	2.3	1.9	1.8	1.7	1.6	2.5	2.5	2.1
	75%値	2.2	1.9	1.9	2.0	0.7	0.7	0.9	<0.5	0.7	2.7	2.3	3.4	2.3	2.1	1.7	1.8	2.5	2.4	2.3
S t - 7 (A)	平均値	1.8	1.7	1.7	1.8	0.6	0.6	0.7	<0.5	0.6	1.8	1.7	2.8	1.8	1.8	1.6	1.2	2.0	2.0	1.9
	75%値	1.9	1.8	1.9	2.0	0.6	0.5	0.7	<0.5	0.6	2.3	1.9	3.3	2.2	2.0	1.7	1.3	2.2	2.2	2.0

C O D測定方法は平成10年度からアルカリ性法から酸性法へ変更

表 - 4 水無川（産島橋）の水質経年変化

項目 年度		n	pH	DO [mg/ℓ]	BOD [mg/ℓ]	SS [mg/ℓ]
H1	最小～最大 平 均	36	6.4 ～ 7.4	<0.5 ～ 6.4 1.5	4.8 ～ 84 42	12 ～ 70 29
2	最小～最大 平 均	36	6.5 ～ 8.2	<0.5 ～ 5.6 1.2	4.0 ～ 68 40	16 ～ 97 30
3	最小～最大 平 均	36	6.6 ～ 7.8	<0.5 ～ 6.5 2.6	6.1 ～ 80 24	14 ～ 83 34
4	最小～最大 平 均	13	6.5 ～ 8.1	<0.5 ～ 8.0 2.9	2.3 ～ 52 29	20 ～ 53 34
5	最小～最大 平 均	36	6.6 ～ 7.7	<0.5 ～ 7.0 2.9	3.0 ～ 59 25	6 ～ 47 21
6	最小～最大 平 均	34	6.2 ～ 8.4	<0.5 ～ 7.4 2.6	2.3 ～ 70 35	7 ～ 79 21
7	最小～最大 平 均	36	6.6 ～ 7.1	<0.5 ～ 3.5 1.1	33 ～ 80 50	6 ～ 45 18
8	最小～最大 平 均	12	6.5 ～ 7.9	<0.5 ～ 6.5 2.6	1.3 ～ 50 25	10 ～ 25 17
9	最小～最大 平 均	12	6.4 ～ 7.8	<0.5 ～ 6.8 3.8	2.7 ～ 92 22	12 ～ 56 29
10	最小～最大 平 均	12	6.8 ～ 7.8	<0.5 ～ 6.3 2.3	6.1 ～ 37 19	8 ～ 60 32
11	最小～最大 平 均	12	6.6 ～ 8.0	<0.5 ～ 7.1 2.5	3.2 ～ 68 29	9 ～ 31 22
12	最小～最大 平 均	12	6.8 ～ 7.9	<0.5 ～ 6.6 2.5	3.5 ～ 45 22	8 ～ 42 23
13	最小～最大 平 均	6	6.7 ～ 6.9	<0.5 ～ 4.8 2.4	11 ～ 48 30	9 ～ 26 16
14	最小～最大 平 均	6	6.7 ～ 7.1	<0.5 ～ 6.4 2.7	9.6 ～ 32 23	14 ～ 42 25
15	最小～最大 平 均	6	6.8 ～ 7.1	<0.5 ～ 3.1 1.4	13 ～ 49 34	19 ～ 63 37
16	最小～最大 平 均	7	6.9 ～ 7.1	<0.5 ～ 1.3 0.7	18 ～ 49 38	9 ～ 51 24
17	最小～最大 平 均	6	7.0 ～ 7.2	<0.5 ～ 2.8 0.9	18 ～ 37 27	18 ～ 26 23
18	最小～最大 平 均	6	7.0 ～ 7.2	<0.5 ～ 4.8 1.6	8.5 ～ 45 23	13 ～ 40 24
19	最小～最大 平 均	6	7.0 ～ 7.2	<0.5 ～ 6.3 2.0	4.3 ～ 44 20	12 ～ 110 36

図 - 5 水無川（産島橋）の水質経年変化（BOD平均値）

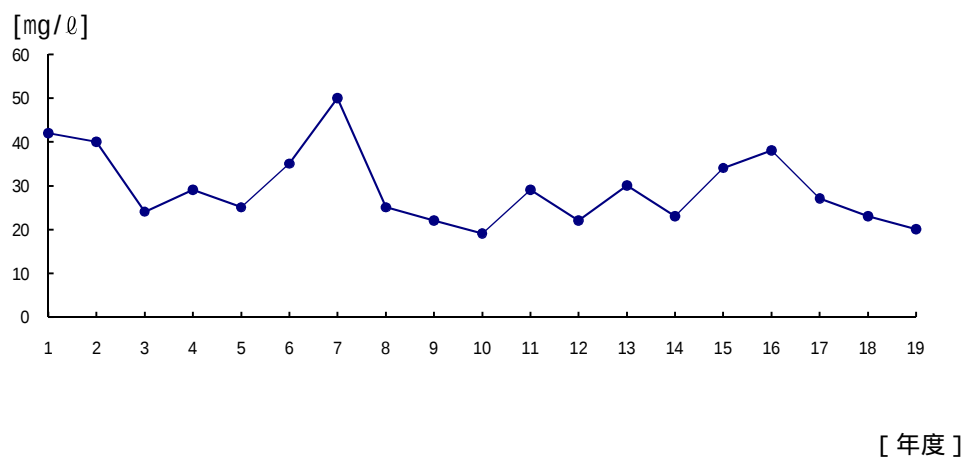


表 - 5 流藻川（河口）の水質経年変化

年度 \ 項目		n	pH	DO [mg/ℓ]	BOD [mg/ℓ]	SS [mg/ℓ]
H1	最小～最大 平 均	6	7.2 ～ 8.1	6.1 ～ 10 8.7	1.6 ～ 7.4 3.2	5 ～ 34 14
2	最小～最大 平 均	6	7.0 ～ 9.1	6.7 ～ 25 11	2.4 ～ 7.0 3.9	12 ～ 89 31
3	最小～最大 平 均	6	7.1 ～ 7.8	5.5 ～ 10 7.8	1.5 ～ 2.9 2.2	7 ～ 16 10
4	最小～最大 平 均	6	7.2 ～ 8.7	6.0 ～ 12 8.6	1.5 ～ 5.1 3.1	5 ～ 21 14
5	最小～最大 平 均	6	7.1 ～ 8.1	6.2 ～ 10 7.9	1.4 ～ 3.1 2.3	8 ～ 45 18
6	最小～最大 平 均	6	7.2 ～ 8.0	6.8 ～ 10 8.5	2.3 ～ 6.8 4	6 ～ 22 14
7	最小～最大 平 均	6	7.3 ～ 8.5	4.4 ～ 13 8.7	1.3 ～ 7.8 3.5	7 ～ 15 12
8	最小～最大 平 均	6	7.2 ～ 7.8	6.4 ～ 10 8.1	2.0 ～ 4.7 2.8	6 ～ 39 15
9	最小～最大 平 均	6	7.5 ～ 8.6	6.9 ～ 12 9.3	0.9 ～ 4.4 2.3	4 ～ 20 12
10	最小～最大 平 均	6	7.2 ～ 8.0	6.5 ～ 12 8.7	1.2 ～ 3.0 2.2	2 ～ 20 11
11	最小～最大 平 均	6	7.1 ～ 8.9	5.3 ～ 14 9.5	1.1 ～ 5.0 2.7	6 ～ 17 11
12	最小～最大 平 均	6	7.3 ～ 8.0	5.3 ～ 11 8.4	1.1 ～ 1.9 1.7	1 ～ 13 9
13	最小～最大 平 均	6	7.1 ～ 9.5	6.3 ～ 13 8.4	1.2 ～ 8.6 3.3	8 ～ 17 13
14	最小～最大 平 均	6	7.1 ～ 7.8	5.9 ～ 10 8.3	1.1 ～ 3.6 2.2	4 ～ 45 15
15	最小～最大 平 均	6	7.4 ～ 9.1	7.3 ～ 10 8.6	1.2 ～ 7.6 3.2	5 ～ 26 15
16	最小～最大 平 均	6	7.3 ～ 8.6	6.3 ～ 10 9.3	0.8 ～ 3.8 1.9	3 ～ 10 8
17	最小～最大 平 均	6	7.4 ～ 8.2	5.9 ～ 10 8.2	1.1 ～ 2.6 1.8	5 ～ 20 11
18	最小～最大 平 均	6	7.2 ～ 8.5	5.5 ～ 13 8.9	1.5 ～ 2.9 2.2	2 ～ 22 11
19	最小～最大 平 均	6	7.6 ～ 8.7	7.5 ～ 10 8.6	1.2 ～ 4.8 2.4	5 ～ 40 13

図 - 6 流藻川（河口）の水質経年変化（BOD平均値）

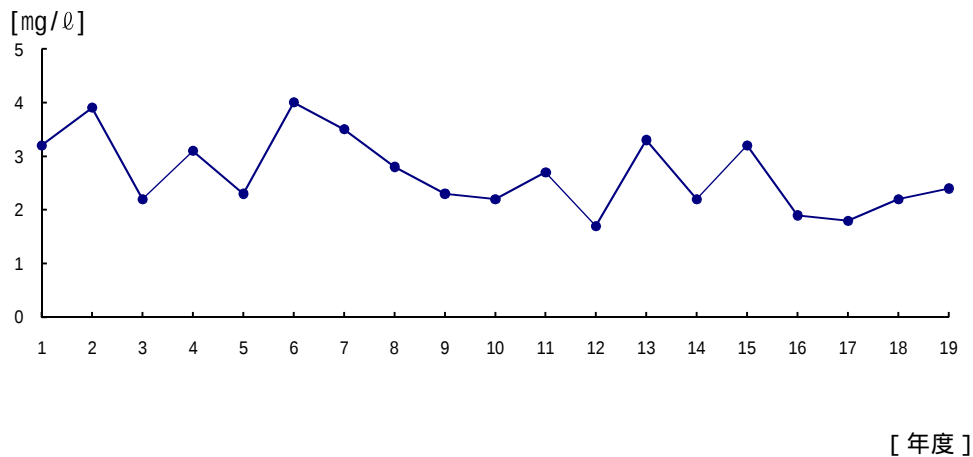
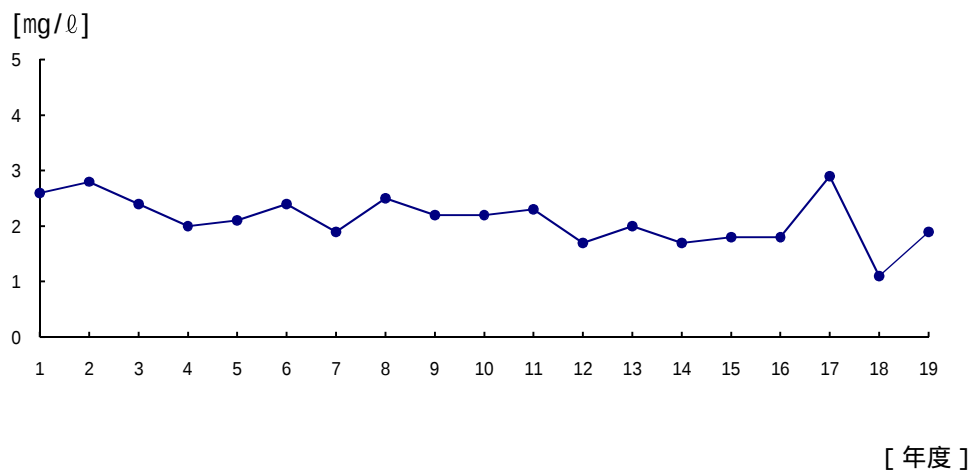


表 - 6 流藻川（千鳥橋）の水質経年変化

年度 \ 項目		n	pH	DO [mg/ℓ]	BOD [mg/ℓ]	SS [mg/ℓ]
H1	最小～最大 平 均	12	7.0 ～ 7.5	3.3 ～ 8.1 6	1.2 ～ 7.1 2.6	4 ～ 17 9
2	最小～最大 平 均	12	7.0 ～ 7.8	4.4 ～ 9.4 6.6	1.9 ～ 4.2 2.8	6 ～ 18 11
3	最小～最大 平 均	12	6.7 ～ 7.5	4.4 ～ 9.9 6.6	1.5 ～ 3.5 2.4	6 ～ 22 12
4	最小～最大 平 均	12	7.1 ～ 7.9	<0.5 ～ 8.4 5.9	1.1 ～ 3.7 2	4 ～ 69 14
5	最小～最大 平 均	6	7.1 ～ 7.6	4.3 ～ 7.8 6.4	1.1 ～ 3.1 2.1	6 ～ 15 9
6	最小～最大 平 均	5	7.0 ～ 7.8	3.9 ～ 8.6 6.3	0.7 ～ 4.5 2.4	6 ～ 31 12
7	最小～最大 平 均	6	7.1 ～ 7.3	4.7 ～ 8.3 6.8	1.2 ～ 2.8 1.9	2 ～ 41 12
8	最小～最大 平 均	6	7.2 ～ 7.8	3.8 ～ 11 6.6	1.2 ～ 4.5 2.5	6 ～ 17 9
9	最小～最大 平 均	6	7.1 ～ 7.6	4.1 ～ 10 6.6	<0.5 ～ 4.0 2.2	3 ～ 17 9
10	最小～最大 平 均	6	7.1 ～ 7.5	4.3 ～ 9.0 6.1	1.6 ～ 2.8 2.2	2 ～ 13 8
11	最小～最大 平 均	6	6.8 ～ 7.3	5.0 ～ 8.2 6.4	1.3 ～ 3.2 2.3	4 ～ 20 10
12	最小～最大 平 均	6	7.0 ～ 7.3	<4.9 ～ 11 6.9	1.1 ～ 1.9 1.7	1 ～ 9 5
13	最小～最大 平 均	6	6.9 ～ 7.3	4.6 ～ 6.9 5.6	1.1 ～ 4.3 2	5 ～ 11 7
14	最小～最大 平 均	6	7.1 ～ 7.3	4.1 ～ 9.6 6.3	0.6 ～ 3.9 1.7	3 ～ 11 7
15	最小～最大 平 均	6	7.1 ～ 7.5	4.4 ～ 10 7.9	1.2 ～ 2.8 1.8	5 ～ 8 7
16	最小～最大 平 均	4	7.2 ～ 7.4	5.4 ～ 9 7.1	1.3 ～ 2.5 1.8	3 ～ 8 6
17	最小～最大 平 均	4	7.1 ～ 7.4	4.6 ～ 8 6.6	1.8 ～ 3.9 2.9	3 ～ 7 6
18	最小～最大 平 均	2	7.3 ～ 7.5	5.9 ～ 10 8.0	1.0 ～ 1.1 1.1	2 ～ 6 4
19	最小～最大 平 均	2	7.3 ～ 7.4	5.0 ～ 8.9 7.0	1.6 ～ 2.2 1.9	2 ～ 8 5

図 - 7 流藻川（千鳥橋）の水質経年変化（BOD平均値）



(2) 健康項目測定結果

主要河川、海域について、健康項目（人の健康の保護に関する環境基準）の調査を行った。また、基準が設定されていない底質についても調査を実施した。

水質

カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、砒素、総水銀、アルキル水銀、ポリ塩化ビフェニル(P C B)、ジクロロメタン、四塩化炭素、1,2-ジクロロエタン、1,1-ジクロロエチレン、シス-1,2-ジクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、1,3-ジクロロプロペン、チウラム、シマジン、チオベンカルブ、ベンゼン、セレン、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素、ふっ素、ほう素の項目について、平成19年度は河川78地点、湖沼（ダム）4地点、海域30地点で、延べ2,708項目について調査した。八代市域の健康項目調査結果については表 - 7、8のとおり。

底質

底質については、水質環境監視の参考とするため、平成19年度は河川6地点、海域19地点で、延べ135項目について調査したが、特に対策を必要とするところはみられなかった（表 - 9）。

表 - 7 河川の水質健康項目調査結果

[mg/ℓ]

水域名	年度	ｶﾞﾐﾝ	ｼﾝ	鉛	砒素	総水銀	P C B	トリクロ Iﾍﾝ	テトラ Iﾍﾝ
球磨川 横石下流	15	<0.001	<0.1	<0.005	<0.001	<0.0005	<0.0005	<0.002	<0.0005
	16	<0.001	<0.1	<0.005	<0.001	<0.0005	<0.0005	<0.002	<0.0005
	17	<0.001	<0.1	<0.005	<0.001	<0.0005	<0.0005	<0.002	<0.0005
	18	<0.001	<0.1	<0.005	<0.001	<0.0005	<0.0005	<0.002	<0.0005
	19	<0.001	N.D	<0.005	<0.001	<0.0005	N.D	<0.002	<0.0005
球磨川 新萩原橋下流	15	<0.001	<0.1	<0.005	<0.001	<0.0005	-	-	-
	16	<0.001	<0.1	<0.005	<0.001	<0.0005	-	-	-
	17	-	-	-	-	-	-	-	-
	18	-	-	-	-	-	-	-	-
	19	-	-	-	-	-	-	-	-
球磨川 金剛橋下流	15	<0.001	<0.1	<0.005	<0.001	<0.0005	-	-	-
	16	<0.001	<0.1	<0.005	<0.001	<0.0005	-	<0.002	<0.0005
	17	<0.001	<0.1	<0.005	<0.001	<0.0005	<0.0005	<0.002	<0.0005
	18	<0.001	<0.1	<0.005	<0.001	<0.0005	<0.0005	<0.002	<0.0005
	19	<0.001	N.D	<0.005	0.001	<0.0005	N.D	<0.002	<0.0005
前川 前川橋	15	<0.001	<0.1	<0.005	<0.001	<0.0005	-	<0.002	<0.0005
	16	<0.001	<0.1	<0.005	<0.001	<0.0005	-	<0.002	<0.0005
	17	<0.001	<0.1	<0.005	<0.001	<0.0005	<0.0005	<0.002	<0.0005
	18	<0.001	<0.1	<0.005	<0.001	<0.0005	<0.0005	<0.002	<0.0005
	19	<0.001	N.D	<0.005	<0.001	<0.0005	N.D	<0.002	<0.0005
流藻川 河口	15	-	-	-	-	-	-	-	-
	16	<0.001	N.D	<0.005	<0.001	<0.0005	-	<0.002	<0.0005
	17	-	-	-	-	-	-	-	-
	18	<0.001	N.D	<0.005	<0.001	<0.0005	-	<0.002	<0.0005
	19	-	-	-	-	-	-	-	-
水無川 産島橋	15	<0.001	N.D	<0.005	<0.001	<0.0005	N.D	<0.002	<0.0005
	16	0.002	N.D	<0.005	<0.001	<0.0005	N.D	<0.002	<0.0005
	17	0.002	N.D	<0.005	<0.001	<0.0005	N.D	<0.002	<0.0005
	18	<0.001	N.D	<0.005	<0.001	<0.0005	N.D	<0.002	<0.0005
	19	<0.001	N.D	<0.005	0.002	<0.0005	N.D	<0.002	<0.0005
氷川 氷川橋	15	<0.001	N.D	<0.005	<0.001	<0.0005	-	<0.002	<0.0005
	16	-	-	-	-	-	-	-	-
	17	<0.001	N.D	<0.005	<0.001	<0.0005	-	<0.002	<0.0005
	18	-	-	-	-	-	-	-	-
	19	<0.001	N.D	<0.005	<0.001	<0.0005	N.D	<0.002	<0.0005

[備考] N.D : 不検出

表 - 8 海域の水質健康項目調査結果

[mg/ℓ]

水域名	年度	ｶﾞﾐﾝ	ｼﾝ	鉛	砒素	総水銀	トリクロ Iﾍﾝ	テトラ IIﾍﾝ
八代地先 (St-1)	15	<0.001	N.D	<0.005	0.001	<0.0005	<0.002	<0.0005
	16	-	-	-	-	-	-	-
	17	<0.001	N.D	<0.005	0.001	<0.0005	<0.002	<0.0005
	18	-	-	-	-	-	-	-
	19	<0.001	N.D	<0.005	<0.001	<0.0005	<0.002	<0.0005
八代地先 (St-2)	15	-	-	-	-	-	-	-
	16	0.001	N.D	0.005	<0.001	<0.0005	<0.002	<0.0005
	17	-	-	-	-	-	-	-
	18	<0.001	N.D	<0.005	<0.001	<0.0005	<0.002	<0.0005
	19	-	-	-	-	-	-	-
八代地先 (St-7)	15	<0.001	N.D	<0.005	0.001	<0.0005	<0.002	<0.0005
	16	-	-	-	-	-	-	-
	17	<0.001	N.D	<0.005	0.001	<0.0005	<0.002	<0.0005
	18	-	-	-	-	-	-	-
	19	<0.001	N.D	<0.005	0.001	<0.0005	<0.002	<0.0005

[備考] N.D : 不検出

表 - 9 河川・海域の底質有害物質調査結果

[μg/g]

水域名	年度	ｶﾞﾐﾝ	ｼﾝ	鉛	六価ｸﾐ	砒素	総水銀	ｱﾙﾐ水銀	P C B
水無川 (産島橋)	15	0.5	<0.3	37.7	<2.0	9.7	0.09	<0.01	<0.01
	16	0.13	<0.3	13	<2.0	5.6	0.24	<0.01	<0.01
	17	0.29	<0.3	21.7	<2.0	9.9	0.61	<0.01	<0.01
	18	0.14	<0.3	93	<2.0	5.2	0.30	<0.01	<0.01
	19	<0.01	<0.3	8.9	<2.0	4.2	0.11	<0.01	<0.01
八代地先 (St-1)	15	<0.05	<0.3	11	-	6.8	0.03	-	<0.01
	16	<0.03	<0.3	11	-	4.7	0.03	-	<0.01
	17	0.03	<0.3	7.4	-	6.2	0.08	-	<0.01
	18	0.03	<0.3	6.7	-	4.1	0.04	-	<0.01
	19	0.02	<0.3	6.3	-	2.4	0.05	-	<0.01
八代地先 (St-2)	15	0.12	<0.3	39.4	-	6.7	0.19	-	<0.01
	16	0.05	<0.3	25	-	6.9	0.21	-	<0.01
	17	0.17	<0.3	25.9	-	6.3	0.23	-	<0.01
	18	0.16	<0.3	18.0	-	6.2	0.21	-	<0.01
	19	0.10	<0.3	25.2	-	6.2	0.29	-	<0.01
八代地先 (St-4)	15	0.1	<0.3	43.8	<2.0	9.8	0.13	-	-
	16	0.07	<0.3	24	<2.0	8.7	0.18	-	-
	17	0.23	<0.3	31.4	<2.0	8.9	0.26	-	-
	18	0.13	<0.3	13.0	<2.0	6.3	0.17	-	-
	19	0.08	<0.3	20.4	<2.0	3.5	0.26	-	-
八代地先 (St-5)	15	<0.05	<0.3	12.8	-	7.5	0.10	-	-
	16	0.13	<0.3	17	-	6.1	0.21	-	-
	17	0.13	<0.3	13.2	-	6.6	0.17	-	-
	18	0.04	<0.3	6.6	-	3.9	0.10	-	-
	19	0.05	<0.3	12.8	-	2.5	0.09	-	-